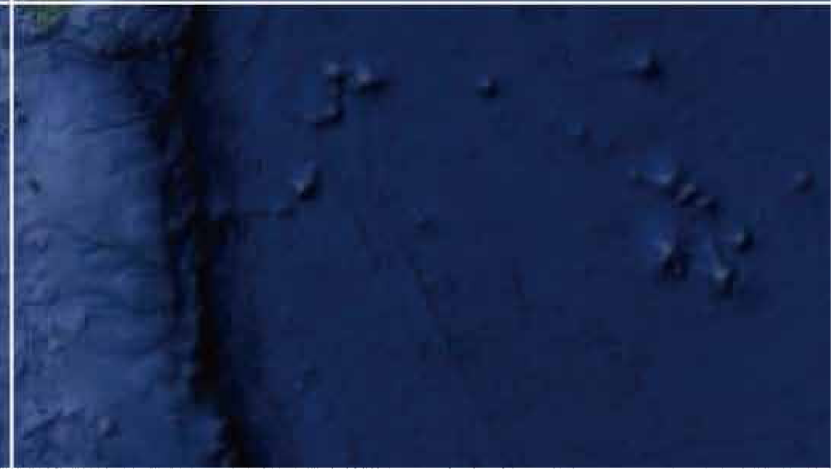
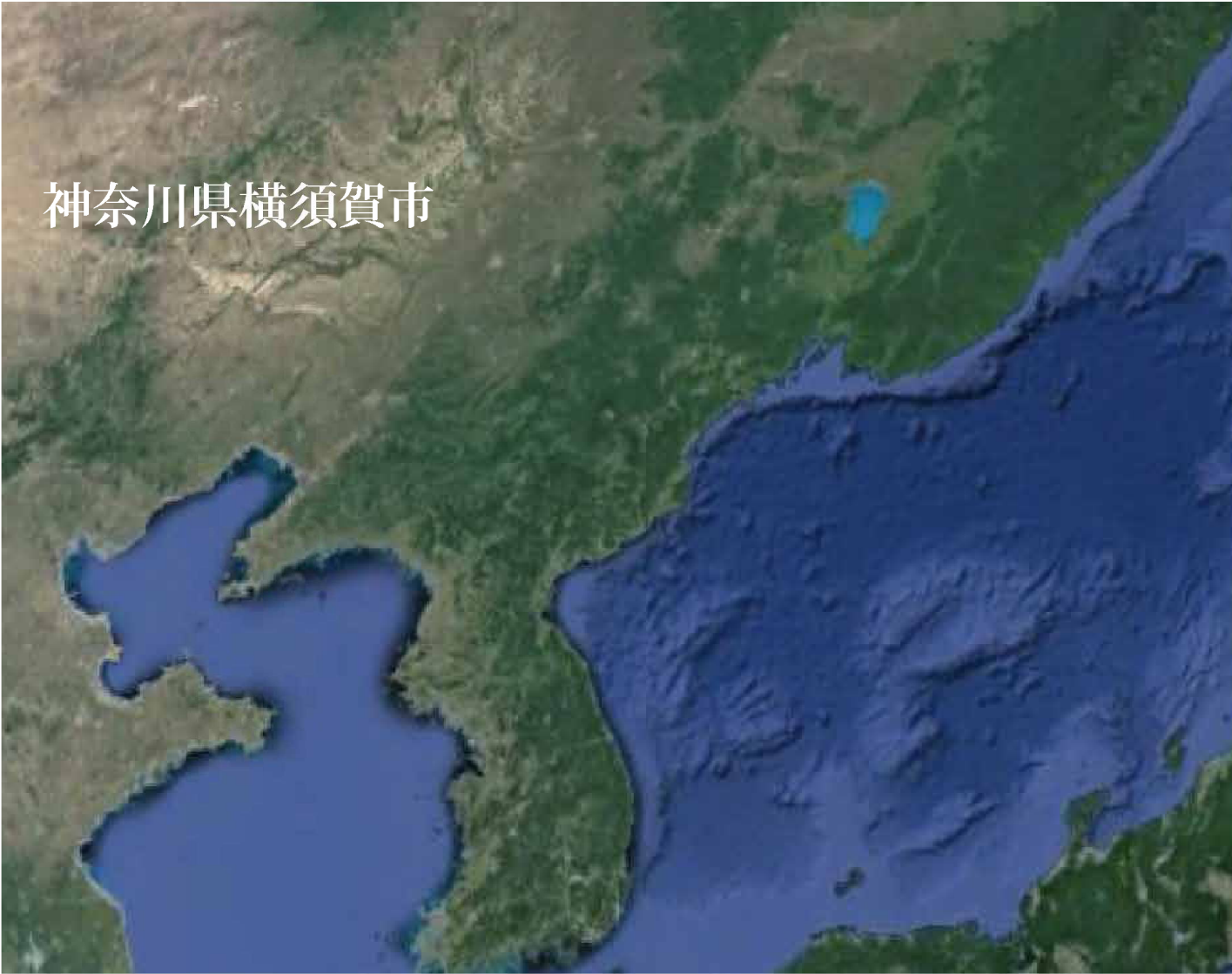


2050年横須賀谷戸計画

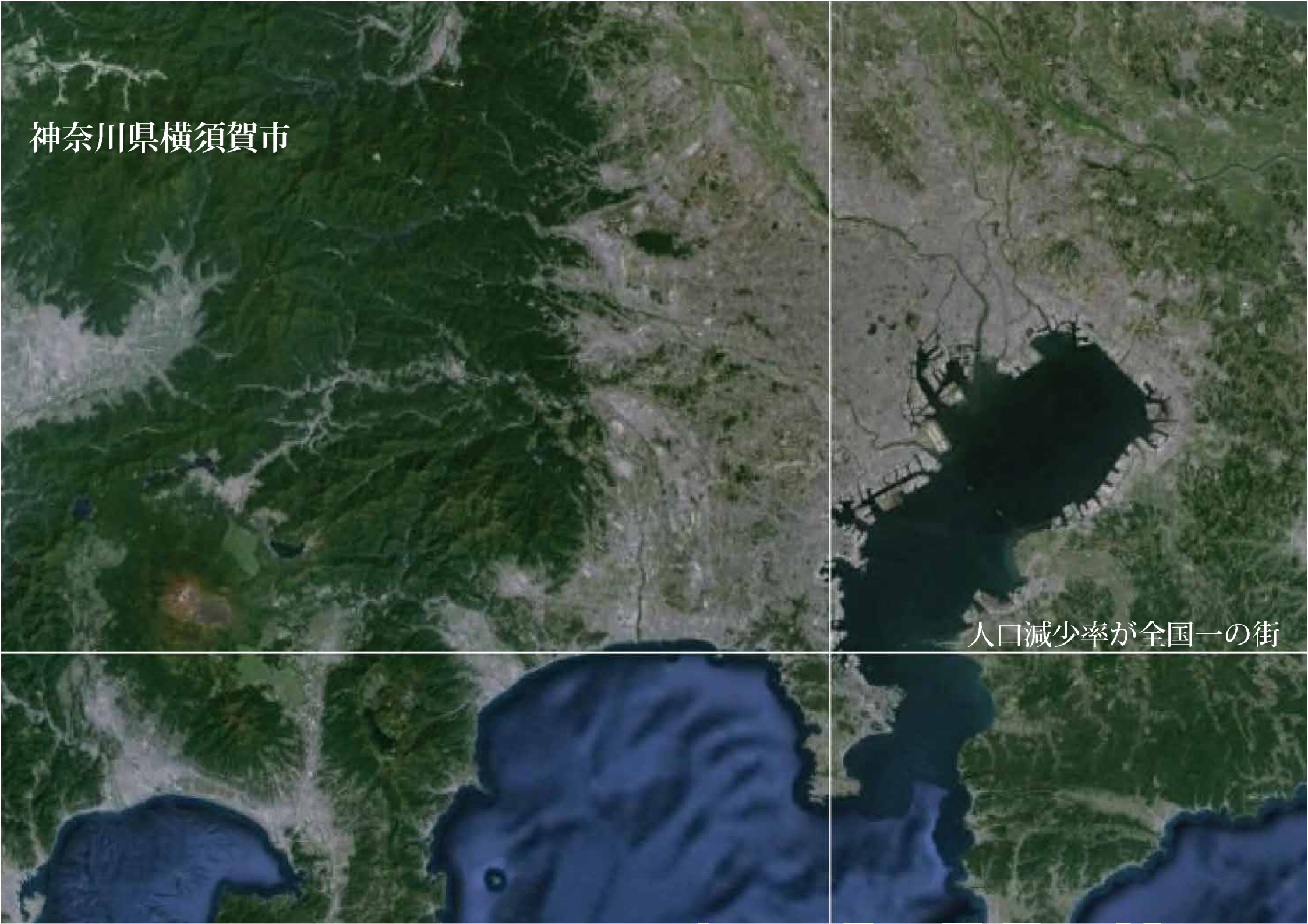
高槻友哉

神奈川県横須賀市



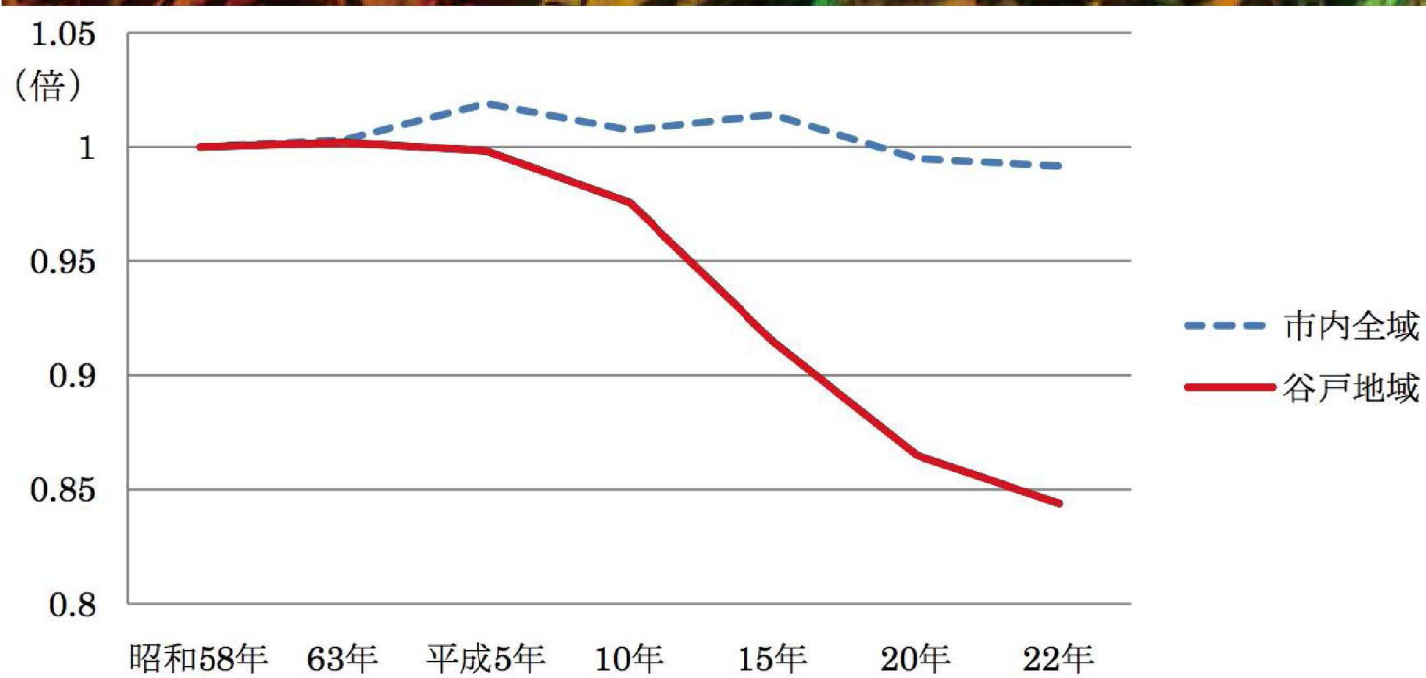
神奈川県横須賀市

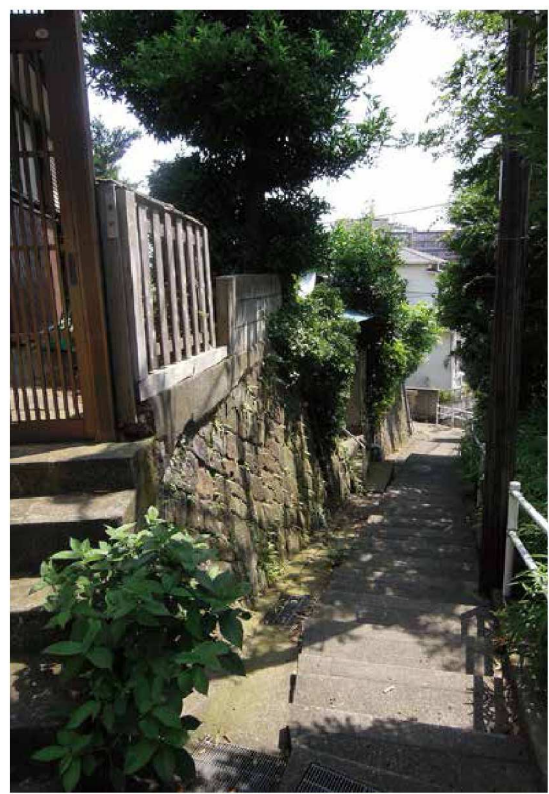
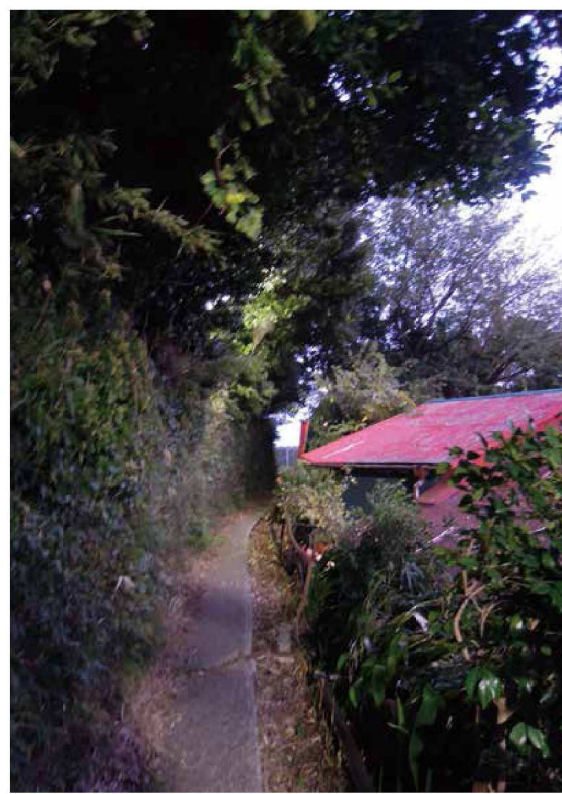
人口減少率が全国一の街



谷戸地域

谷戸以外の地域に比べ人口減少率が異常に高い







「道」の問題



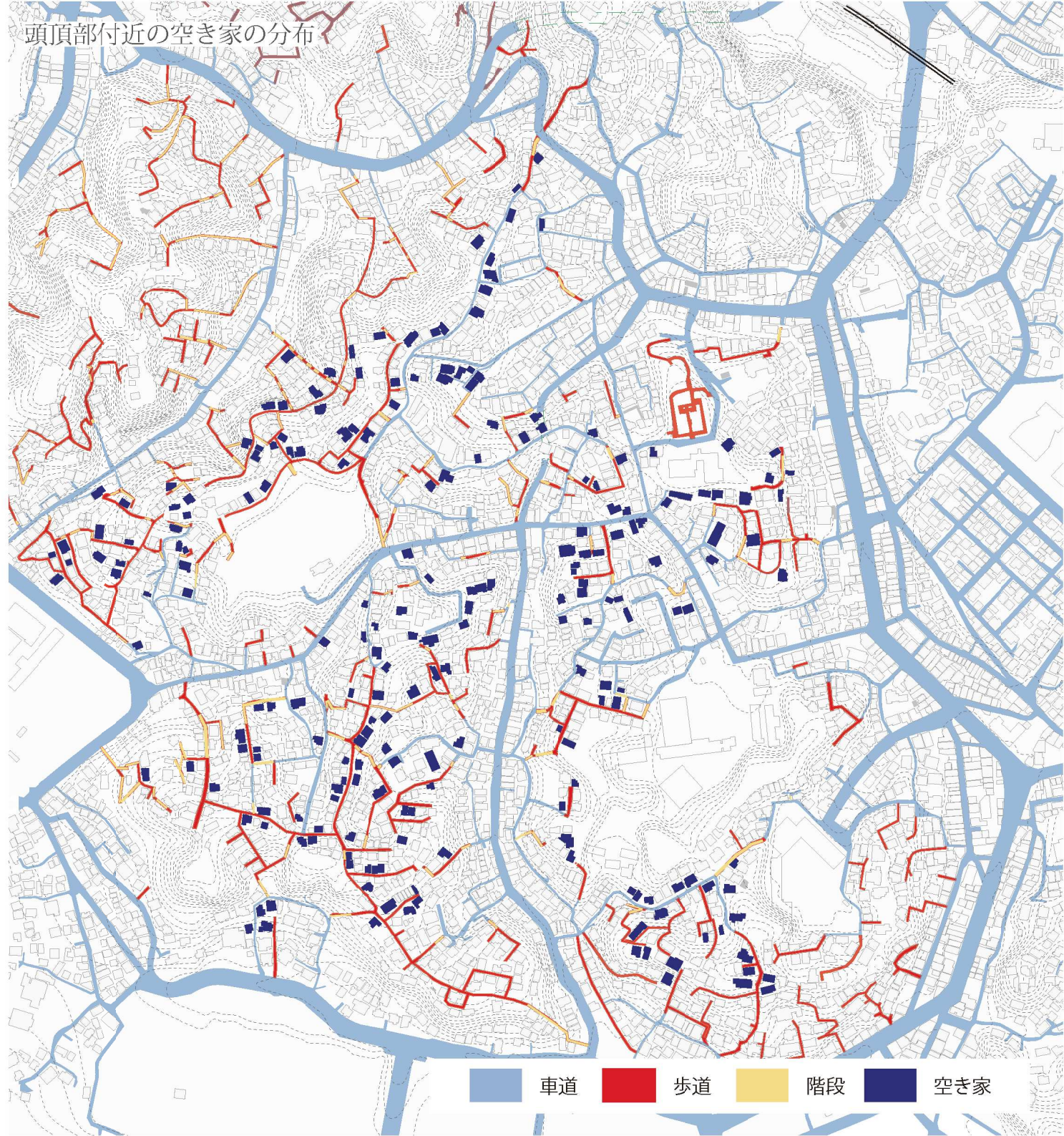
頭頂部付近の空き家の分布

「道」の問題による「空き家」

「歩道」が多くの階段を持ち、車が横付けできない家が多発

→「空き家」率が他に比べ高い

防災や建設の問題も発生する



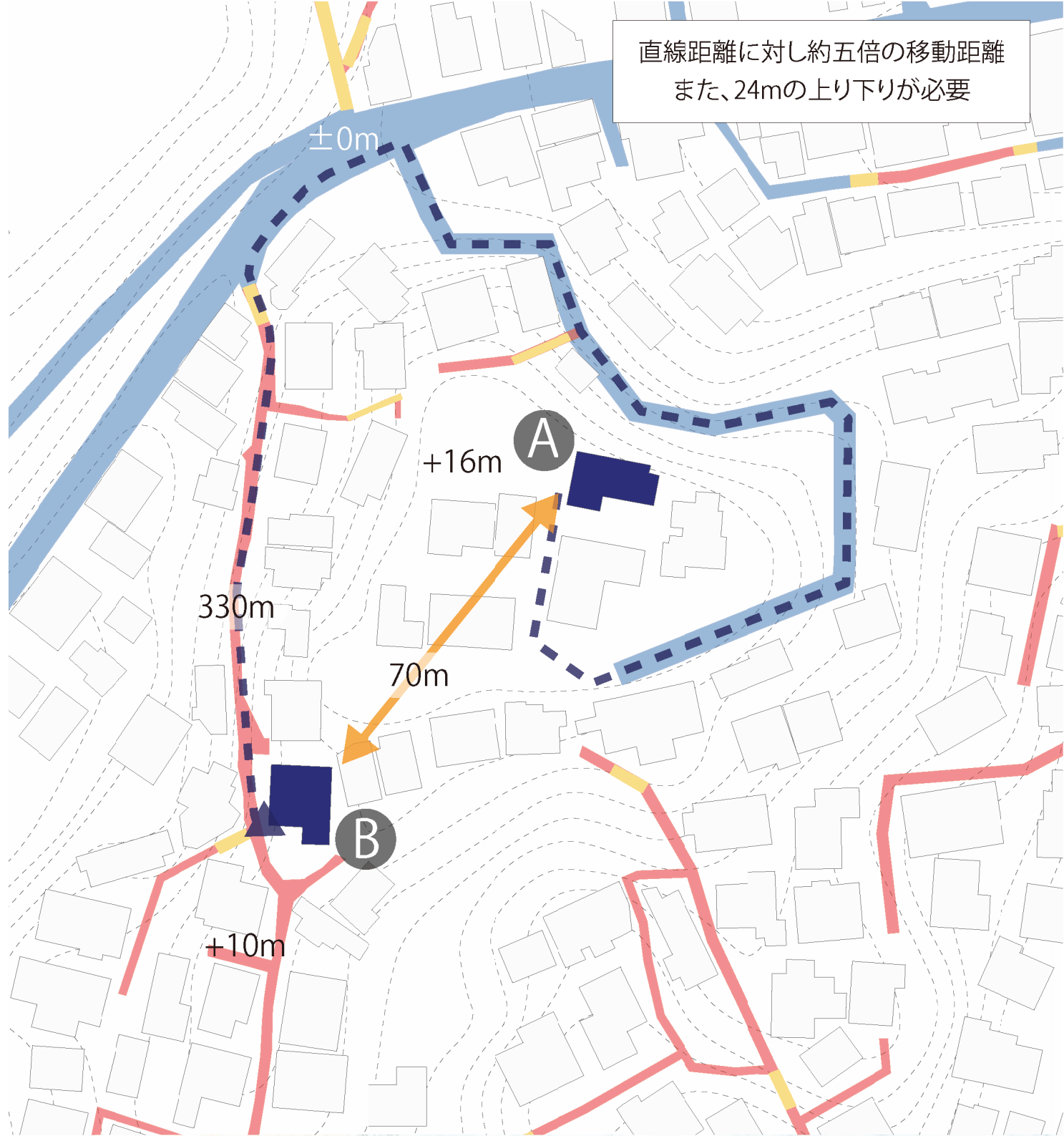
車道 歩道 階段 空き家

行き止まりの「歩道」

「歩道」が「車道」から垂直に伸び「行き止まり」を生む

→ 直線距離に対する移動距離の圧倒的な長さ

■ 車道 ■ 歩道 ■ 階段



拡大した生活圏

「公共施設」や「商店」が埋め立て地等の平場に分散

→生活圏が広がり、車の所有を求められるようになった結果
道の問題が決定的なものになっていく



老朽化と機能の重複

一斉に建てられた公共施設の老朽化

名称や管理により利用者が限定される施設

	種別	築年数(2015年時)	2020年	2030年	2040年	2050年
坂本青少年の家	文化施設	21	26	31	47	57
青少年会館	文化施設	45	50	55	71	81
中央図書館	図書館	53	58	63	79	89
児童図書館	児童図書館	41	46	51	67	77
はまゆう公園	スポーツ公園	27	32	37	53	63
不入斗公園	スポーツ公園	43	48	53	69	79
総合体育館メインアリーナ	体育館	37	42	47	63	73
総合体育館サブアリーナ	体育館	19	24	29	45	55
豊島小学校	小学校	59	64	69	85	95
鶴久保小学校	小学校	45	50	55	71	81
桜小学校	小学校	33	38	43	59	69
坂本中学校	中学校	52	57	62	78	88
不入斗中学校	中学校	50	55	60	76	86
看護専門学校	看護学校	51	56	61	77	87
上町幼稚園	幼稚園	44	49	54	70	80
老人デイサービスセンター	介護センター	23	28	33	49	59
うわまち病院	病院	51	56	61	77	87

築50年以上 築70年以上



同じ機能のものを色分けすると機能が重複している事がわかる

提案

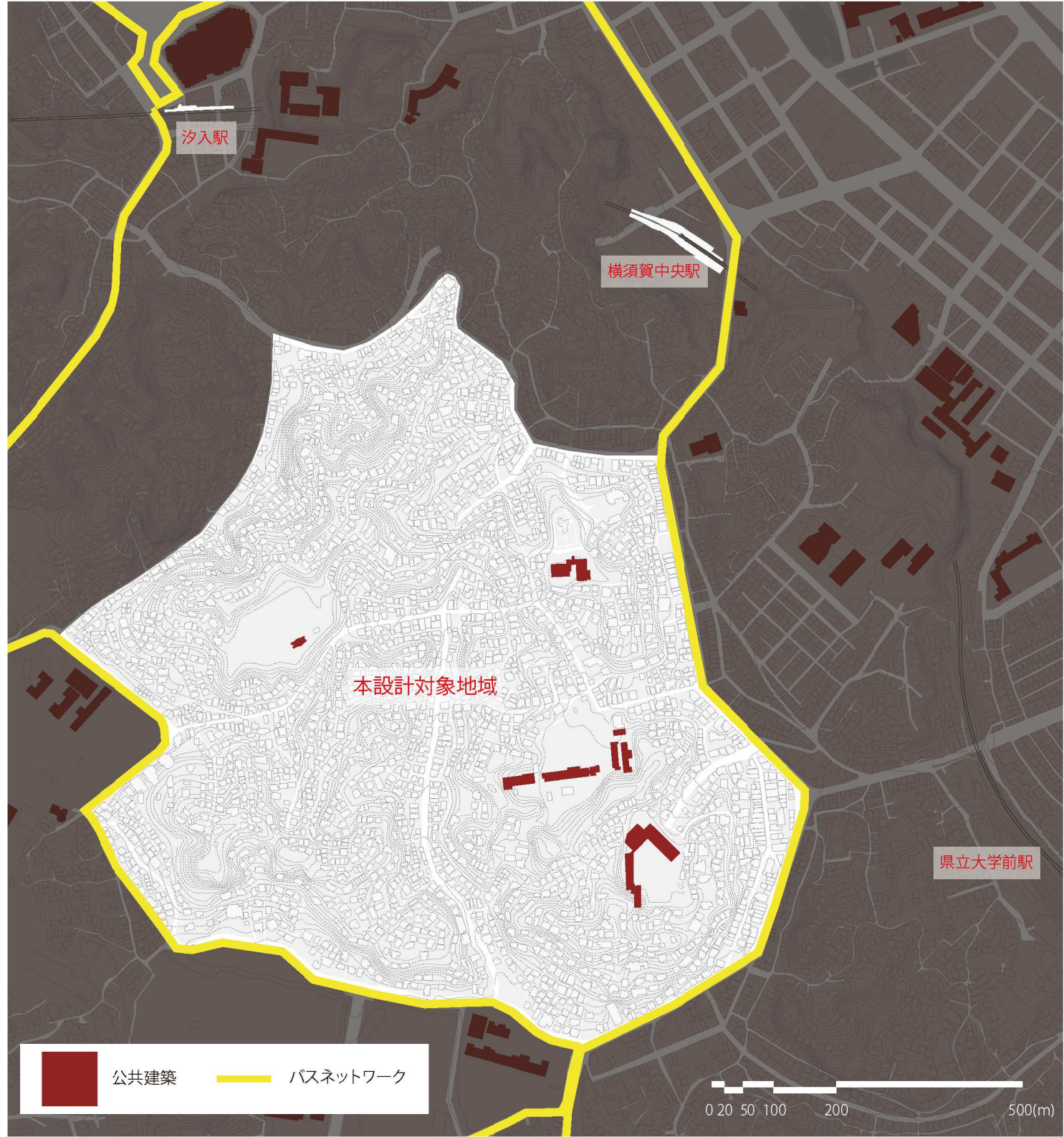
<2050年>

「在り方」としての<マスタープラン>の提案による
「人間の為の集合した住まい」としての街の再構築



計画対象範囲

3つの駅にはさまれ、バスネットワークから切り離された約1km四方の、空き家化が進む地域を対象とする



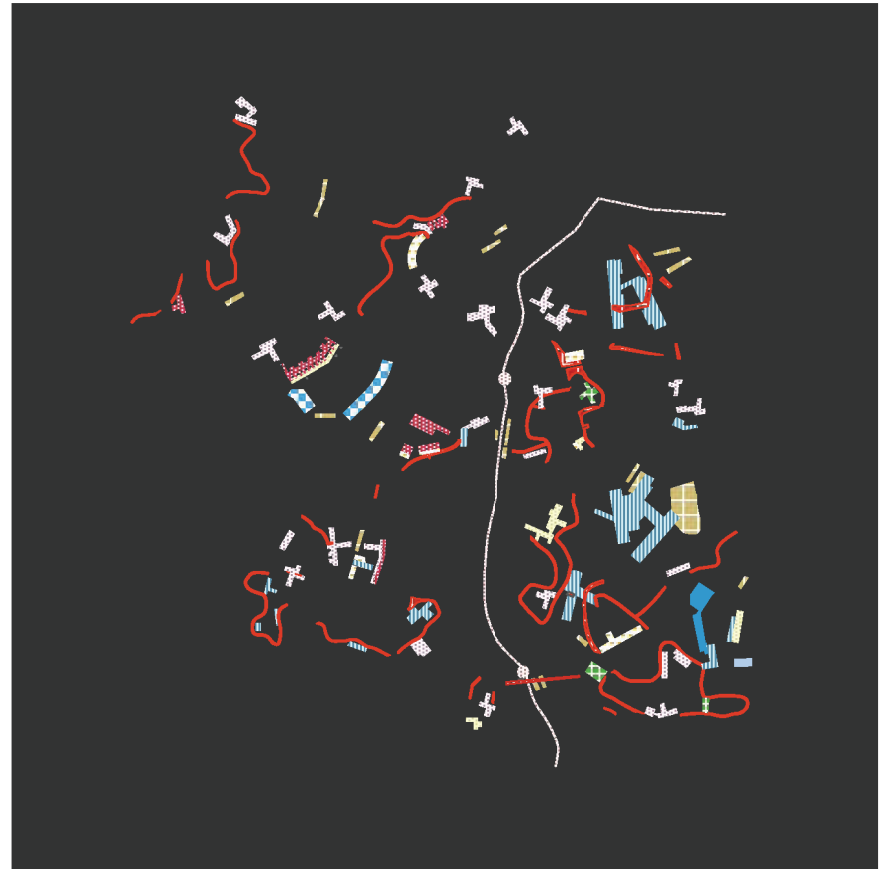
設計手法

2つの手法

<サークル>



<レイヤー>





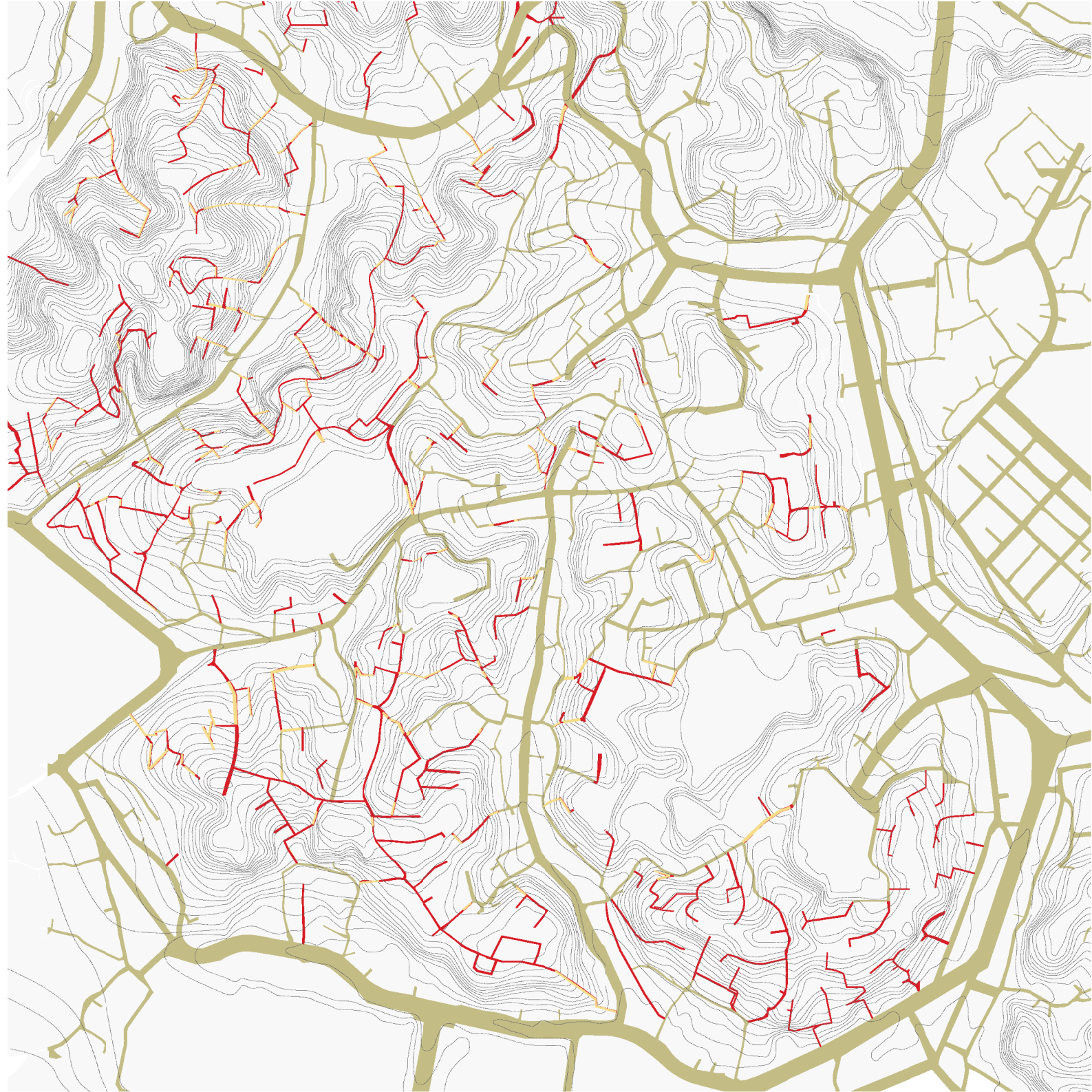
<サークル>

環状ネットワークの生成

Phase 1

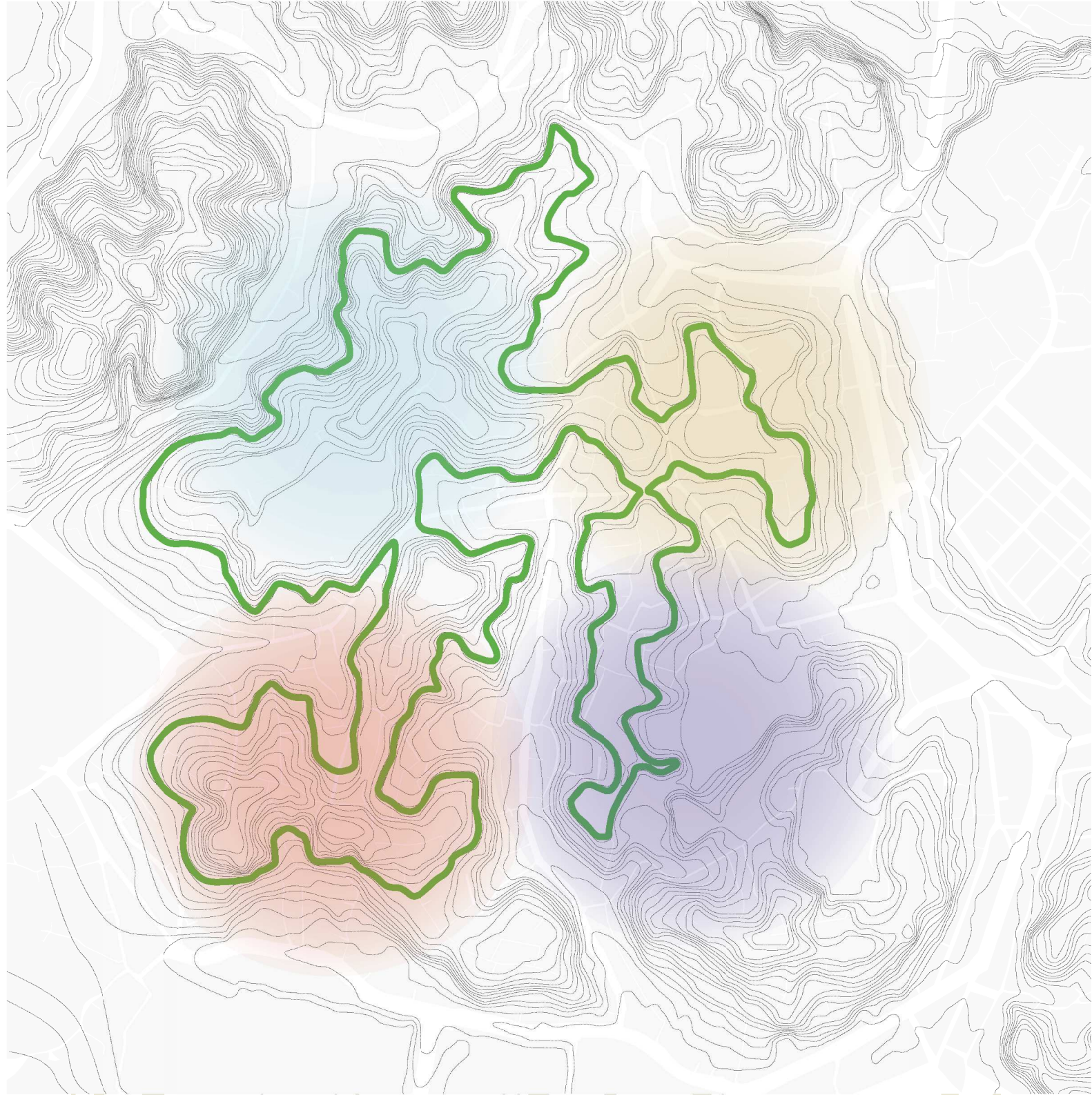
道に注目すると<車道>が
台地に入り込んでいる事がわかる

■ 車道 ■ 歩道 ■ 階段



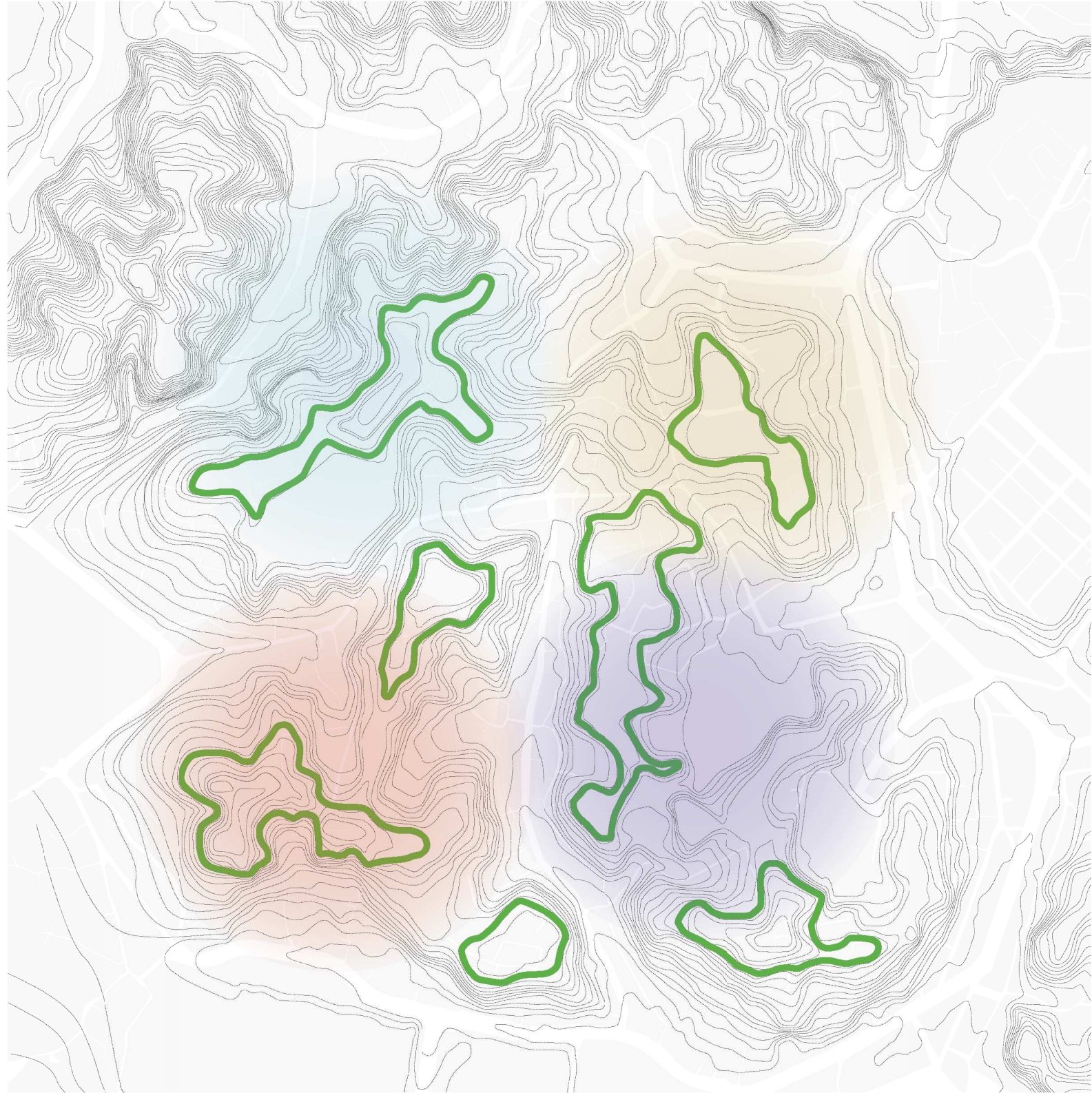
Phase 2

<コンターライン>に注目すると
4つのエリアに分けられることがわかる



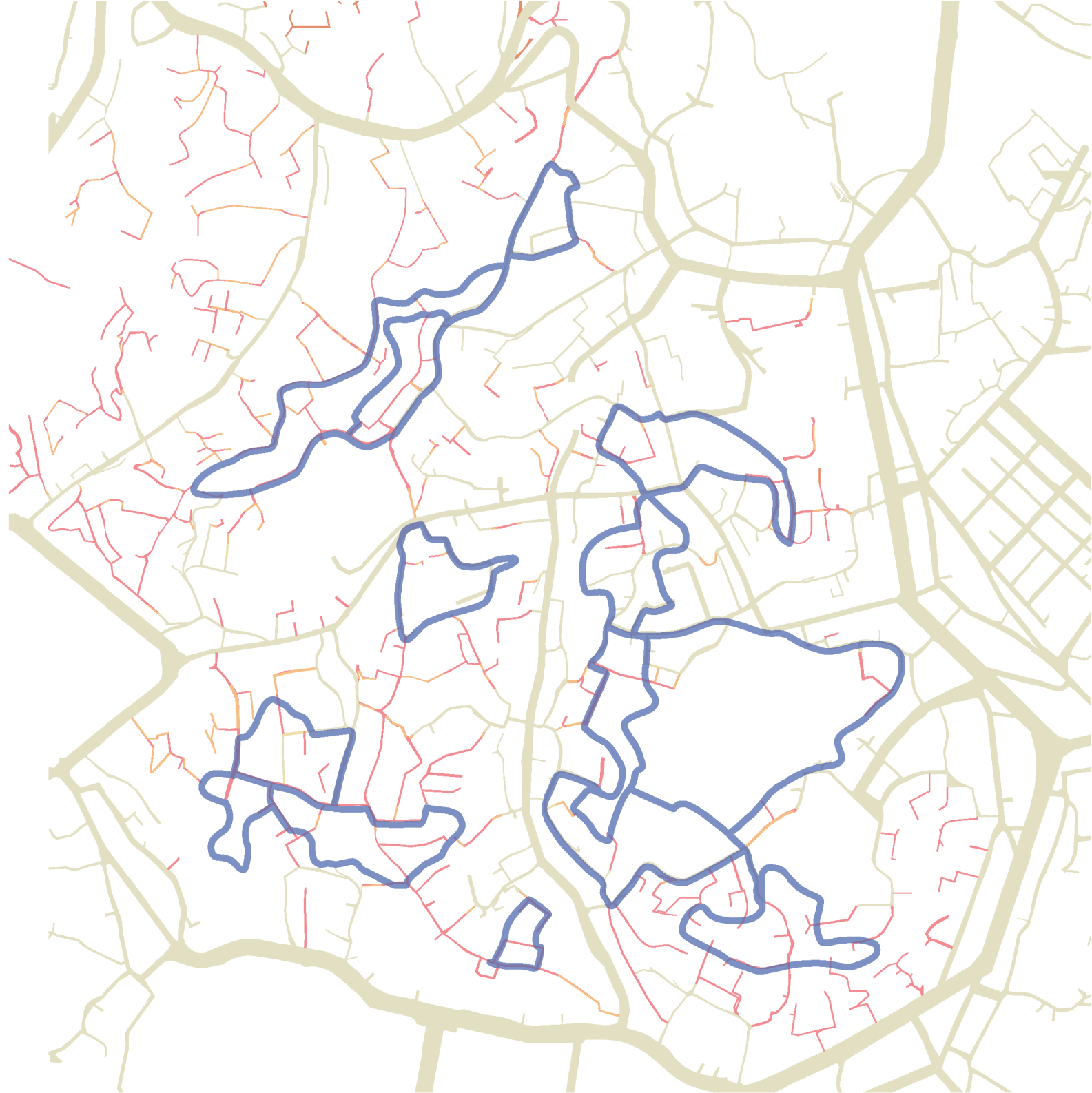
Phase 3

エリア毎を貫く〈コンター〉を標高を無視し抽出



Phase 4

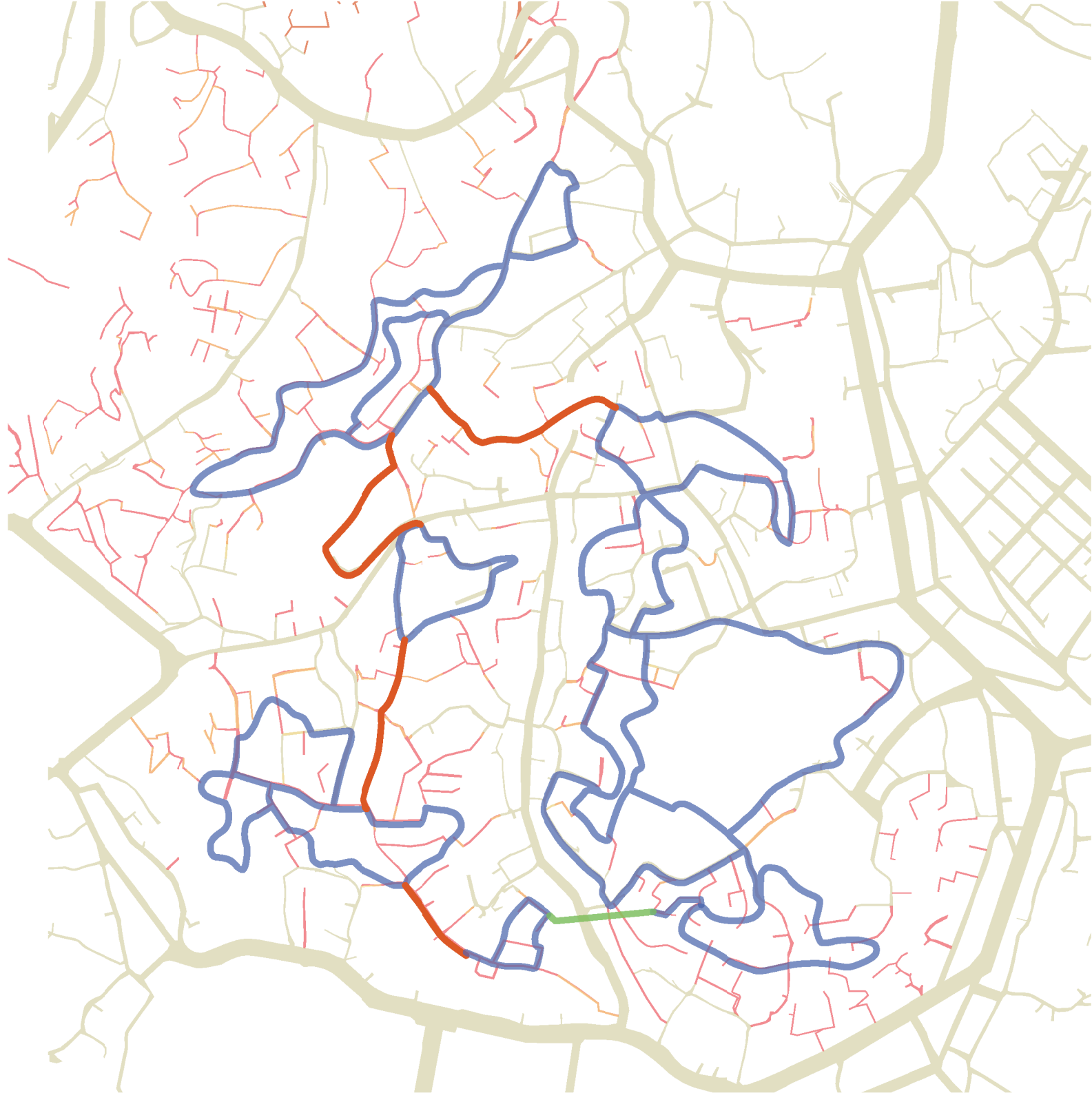
＜階段＞を除く＜既存の道＞と＜コンターライン＞
を重ねる事でエリア毎の小さな＜サークル＞を形成する



Phase 5

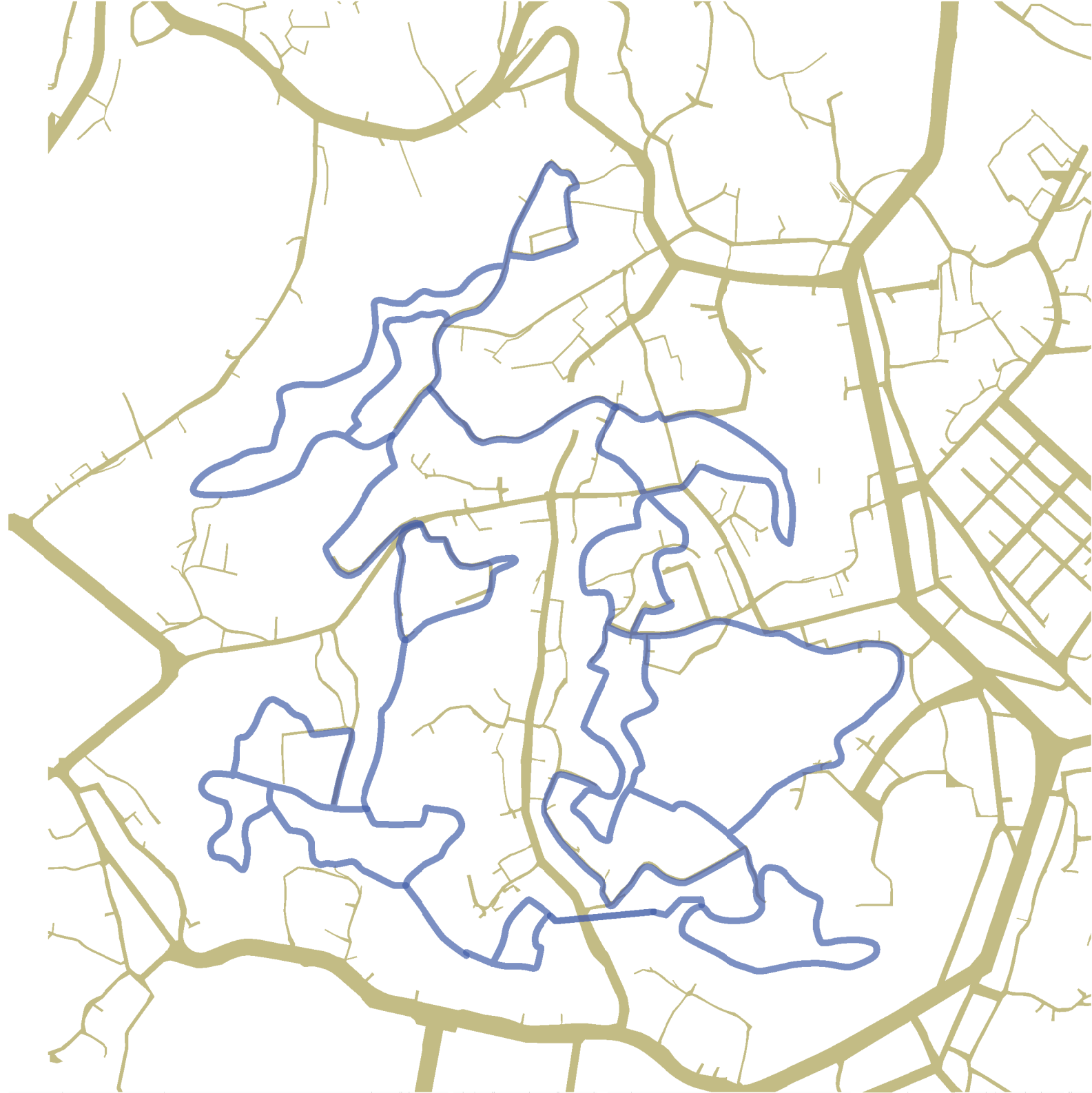
それぞれを<既存の道>や<歩道橋>を用い繋ぐ事で、
徒歩を中心とした、水平ネットワークとしての
1つの大きな<サークル>が形成される

小型の移動手段を容認するため、
ホースカーを用いた消化活動等も行いう事が可能となる



Phase 6

<サークル>は<車道>を内包し、
車でアクセスが可能となる



＜サークル＞の一部となる
＜新たな道＞の生成

Phase 1

エリアを貫く<コンターライン>を場所毎に
数本ピックアップする



Phase 2

<コンターライン>に沿った<既存の道>を
階段をよけピックアップする

 階段  既存の道



Phase 3

<空き家>をピックアップする

階段 既存の道 空き家



Phase 4

<空き家>を壊し、<新たな道>を通す

- 階段
- 既存の道
- 空き家
- 新たな道



Phase 5

＜新たな道＞と＜既存の道＞を組み合わせ、
＜サークル＞を生成

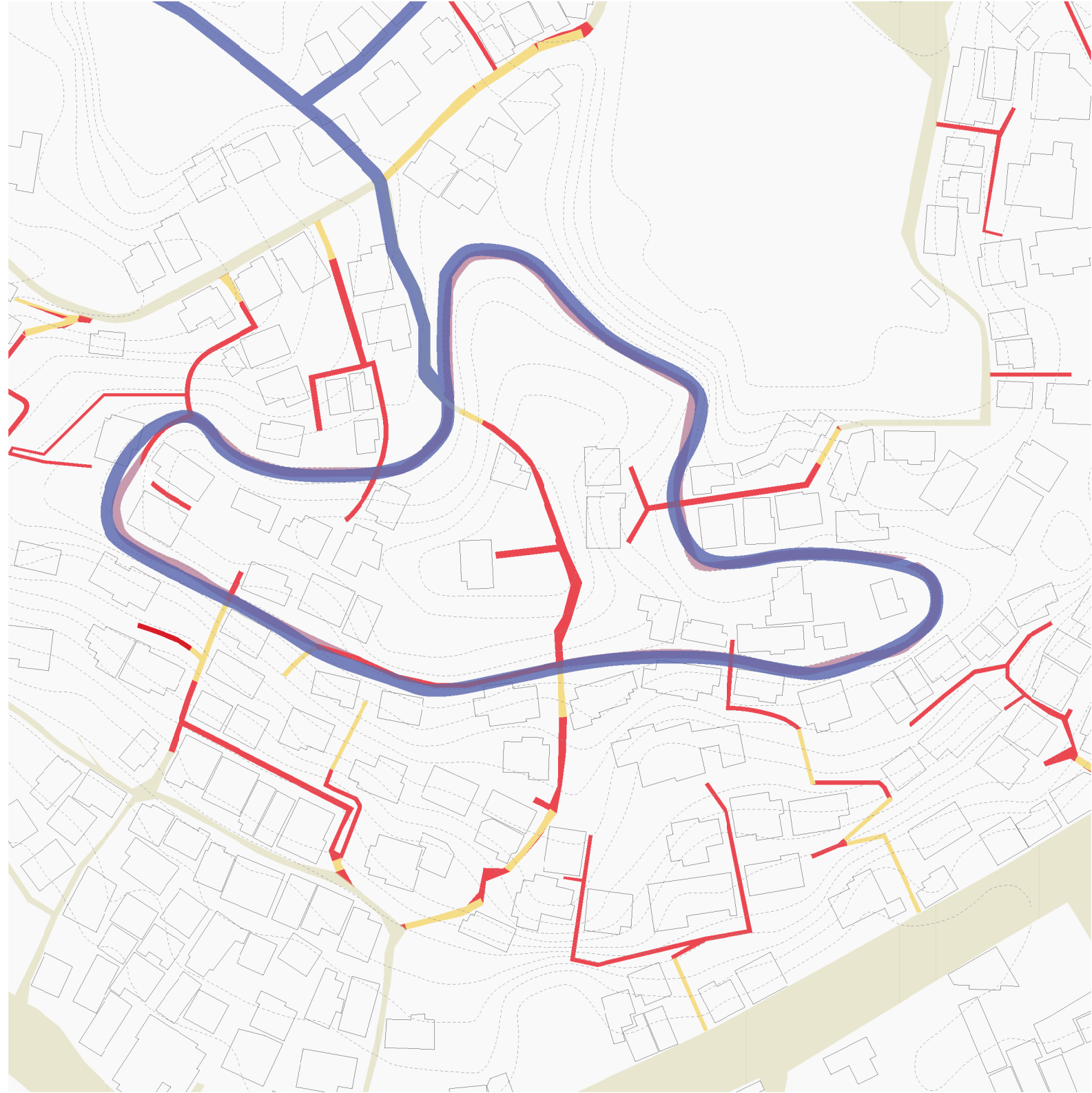
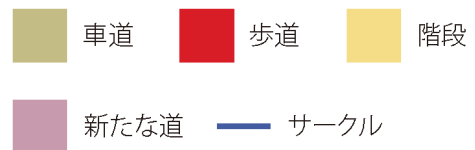
■ サークル



Phase 6

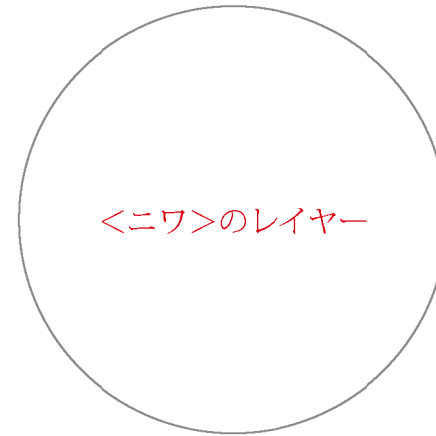
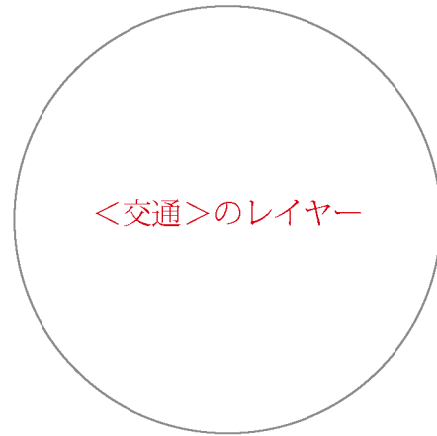
<既存の道>により、他の<サークル>と連結する

<サークル>が立体的に分布することで、
負の存在であった<階段>が正常な縦動線として
再び機能を始める

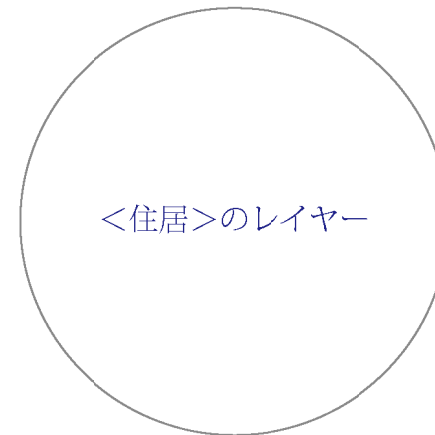
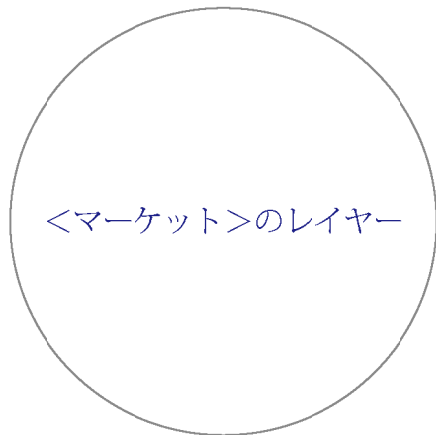




外部空間のレイヤー



建築物のレイヤー



外部空間のレイヤー



<交通>のレイヤー

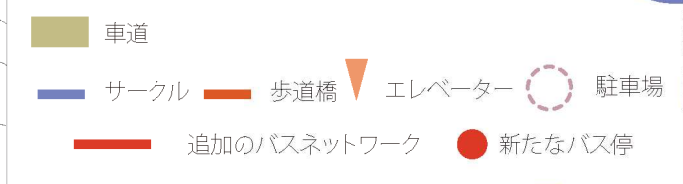
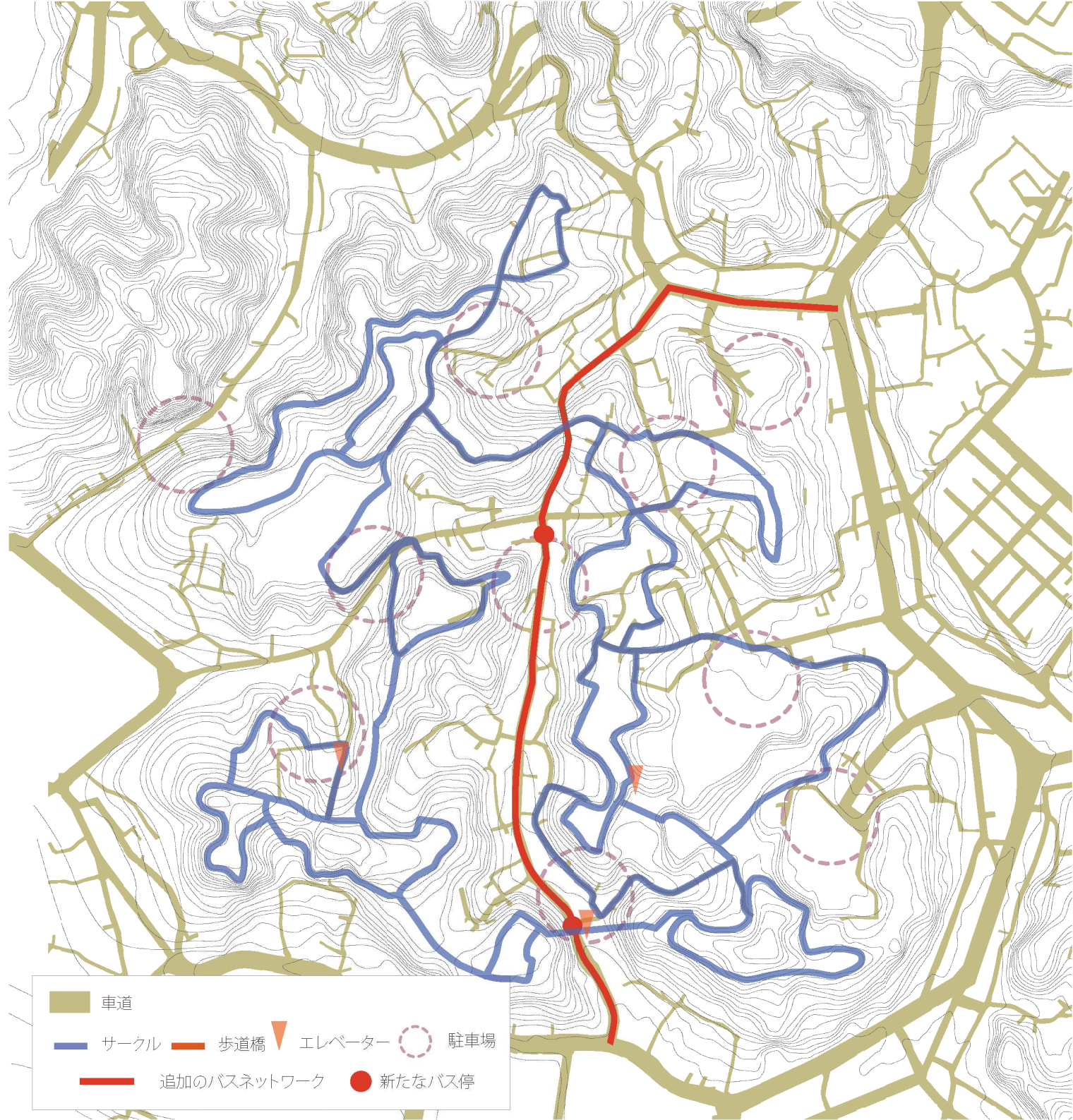


<ニワ>のレイヤー

<交通>のレイヤー

〈サークル〉と街を接続

カーシェアリングのポートや新たにバスのルートを通し、
バス停を作る事で、長距離移動が可能となる。
また、橋の部分には縦リフトとなるエレベーターを設置する



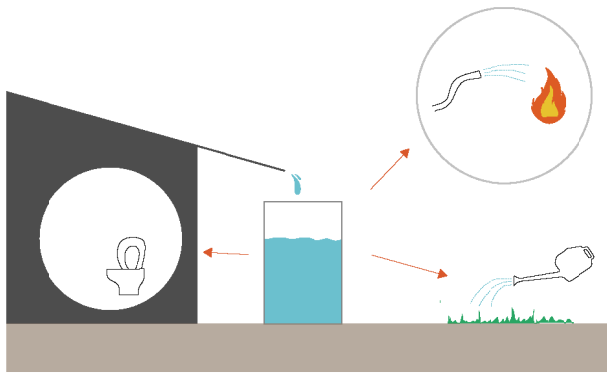
<ニワ>のレイヤー

2種類の〈ニワ〉

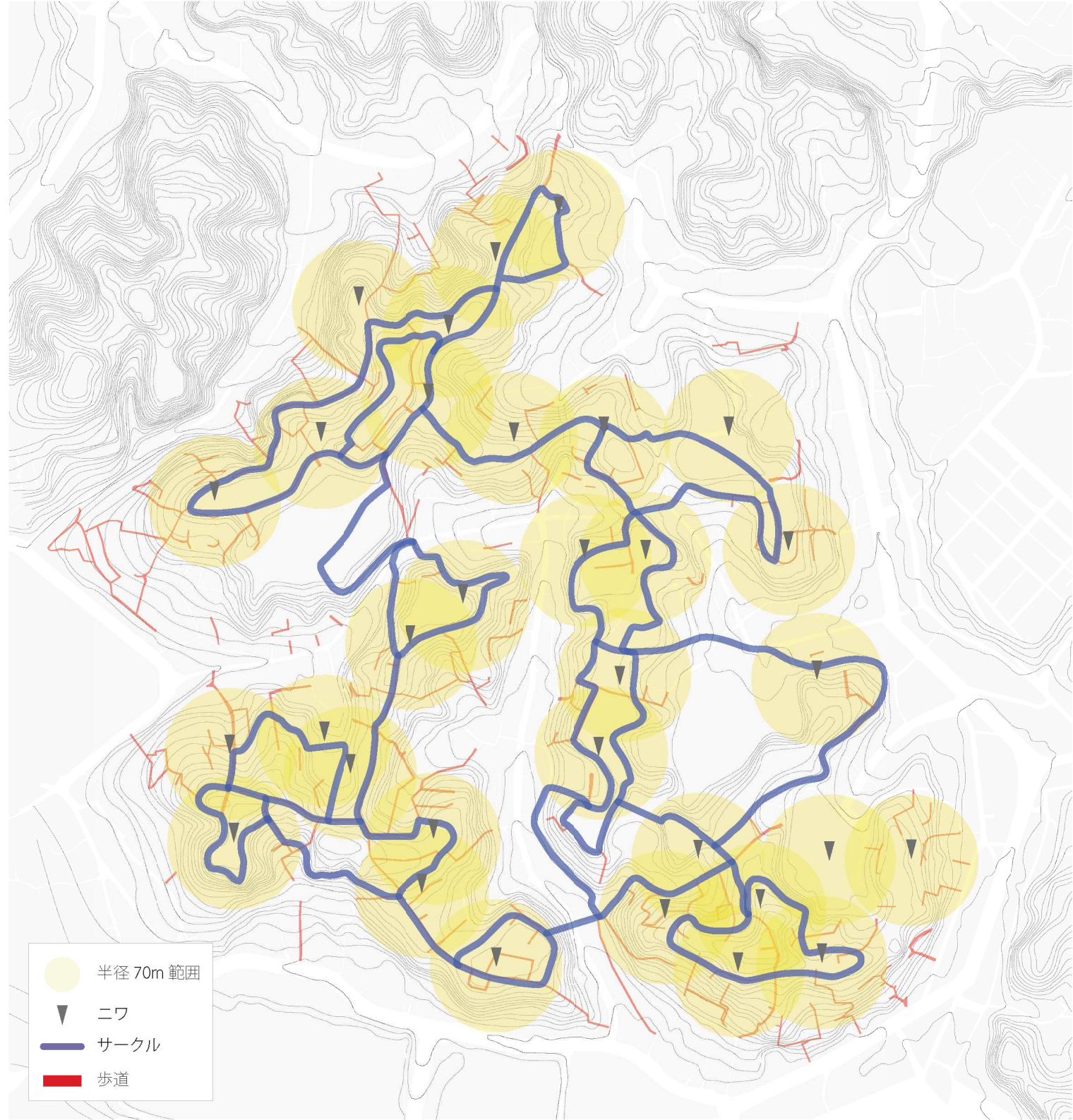
恒久的な〈ナカニワ〉

暫定的な〈ツボニワ〉

防災範囲毎に配置される
恒久的な〈ナカニワ〉

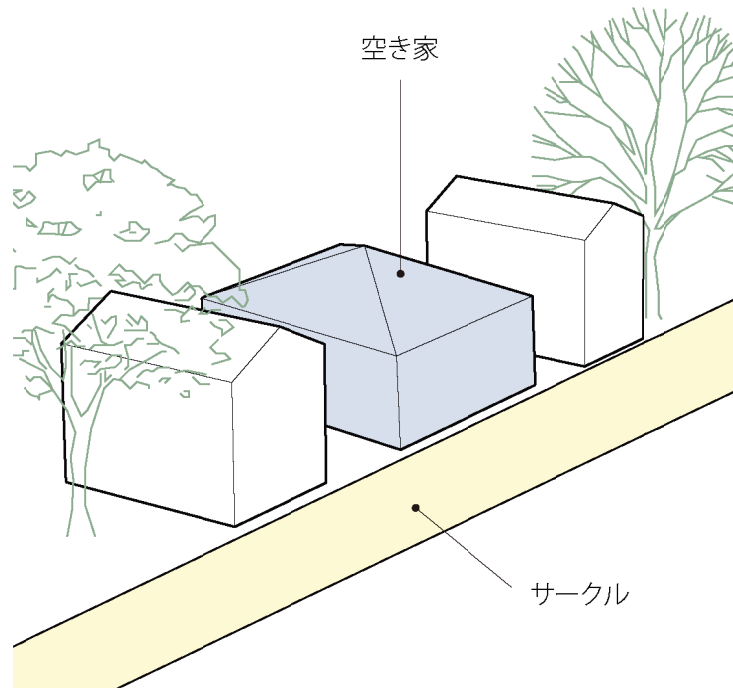


〈防火水槽〉と〈集合住宅〉が付随される

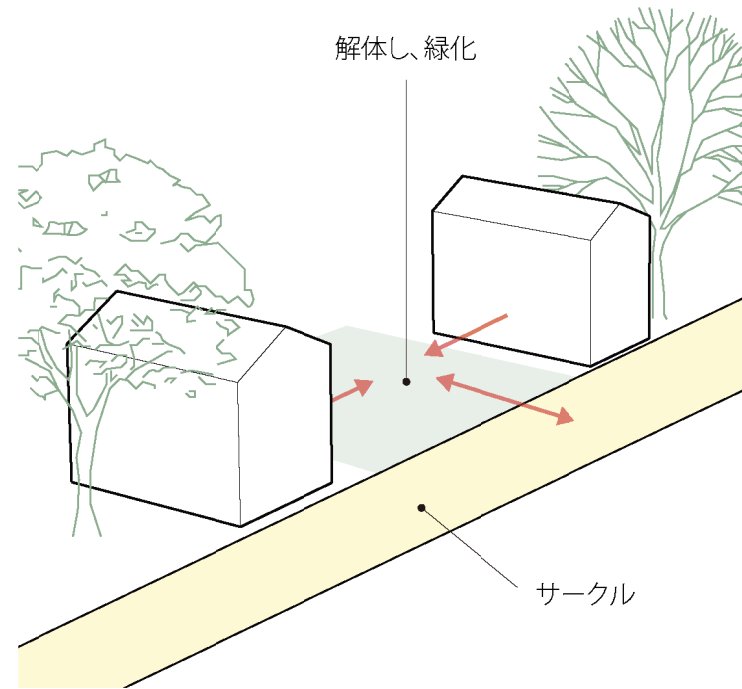


- 半径 70m 範囲
- ▼ ニワ
- サークル
- 歩道

<空き家>解体によって生まれる暫定的な<ツボニワ>

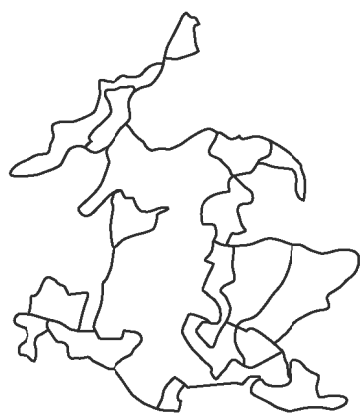


放置された空き家



人々の居場所となる

<ニワ>と<サークル>の一体化



<サークル>

+

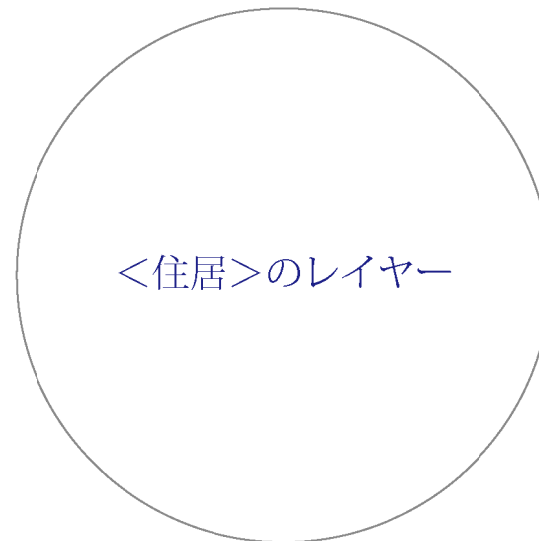
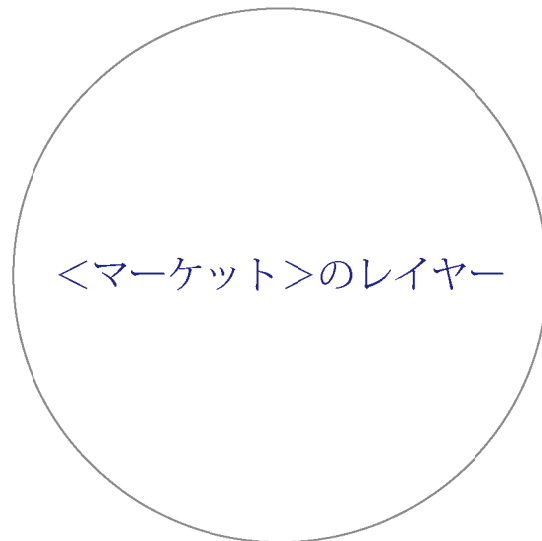


<ニワ>



<ニワ>と<サークル>が一体となる

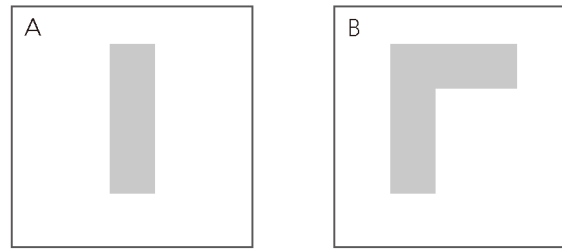
建築物のレイヤー



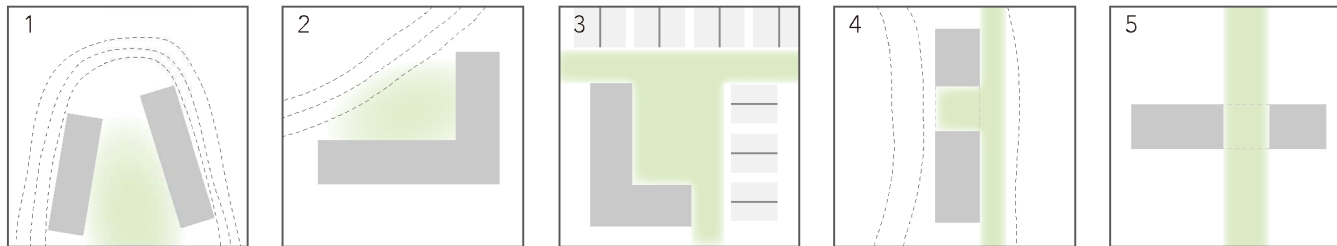
谷戸における〈パタンランゲージ〉

3種類のパターン

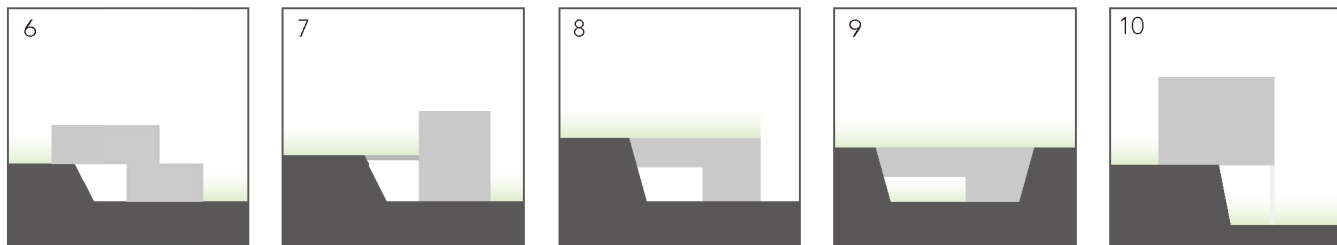
ボリューム形体



平面形体

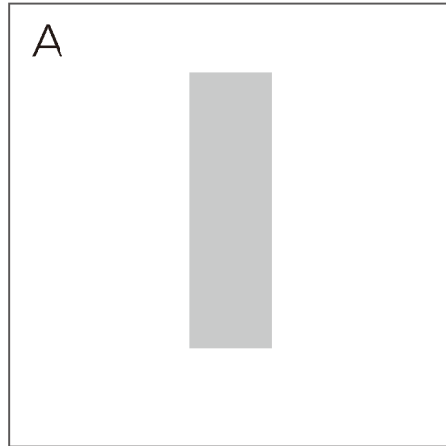


断面形体

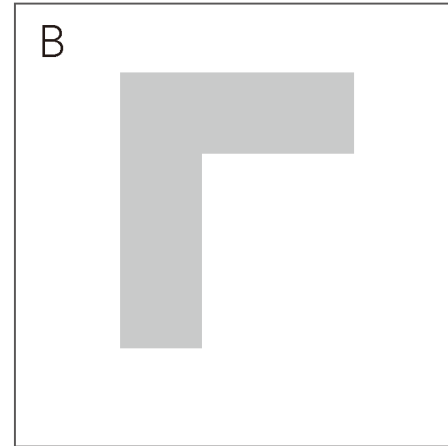


ボリューム形体

基本形



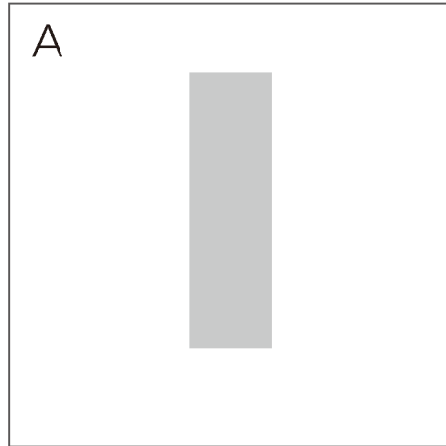
直線型



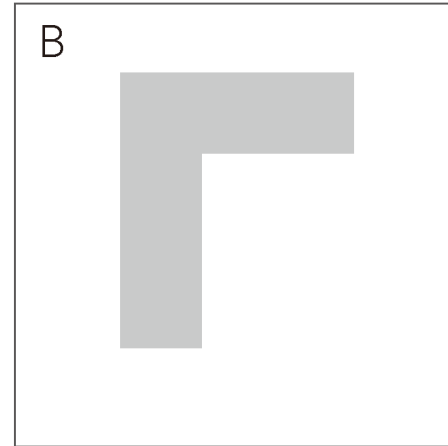
L字型

ボリューム形体

基本形



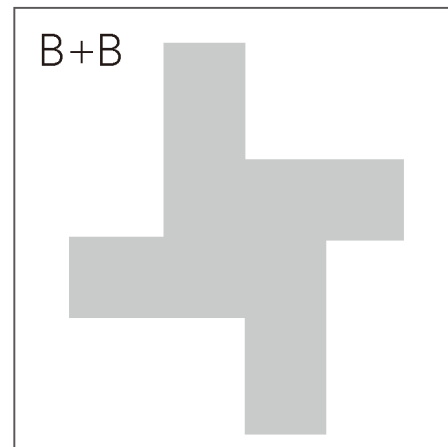
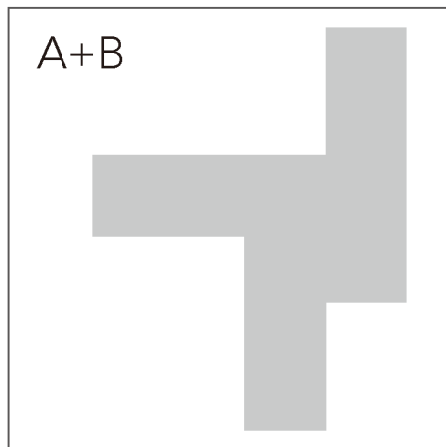
直線型



L字型



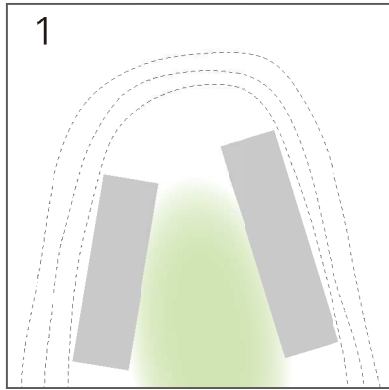
複合



組み合わせ使用する事で、他の建物と共にニワを形成する

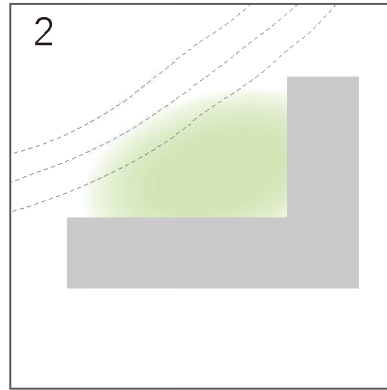
平面形体

挟み型



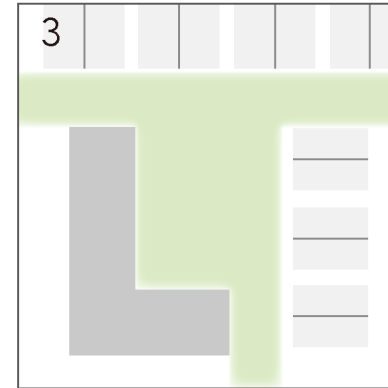
ニワの創出

囲み型 1



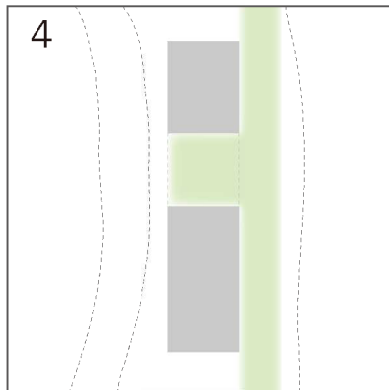
地形との対応

囲み型 2



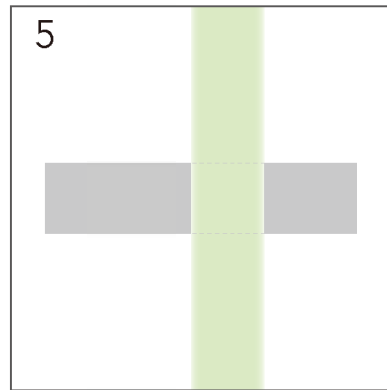
他のボリュームとの対応

付属型

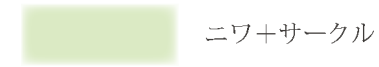


ニワ+サークルの拡幅

貫通型



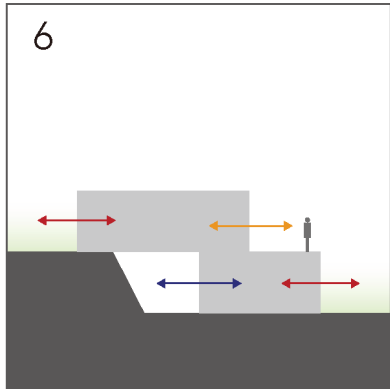
サークルの半屋外化



<ニワ>と<レイヤー>を生成する

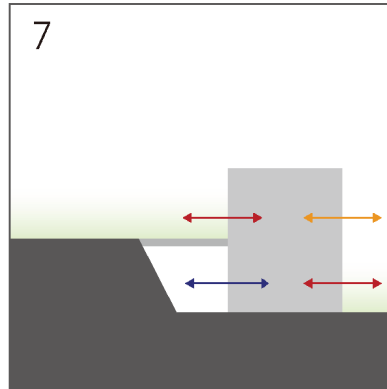
断面形体

階段型



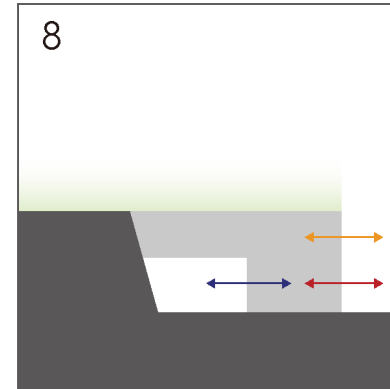
方向性の明確化

連結型



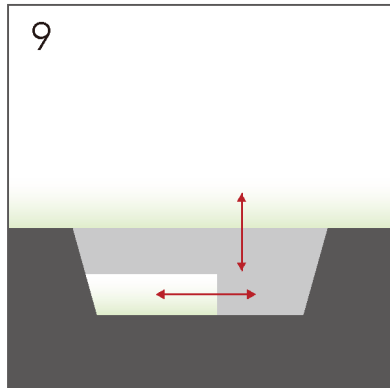
既存住宅等とサークルの連結

差し込み型



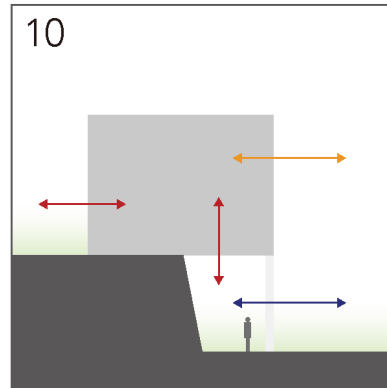
サークルの拡幅

連結型線



サークルの生成と縦動線

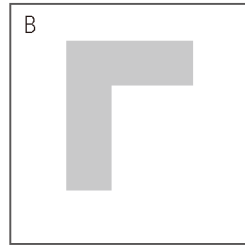
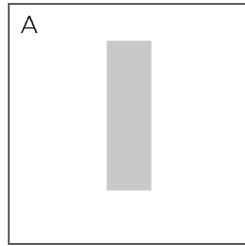
ピロティ型



半外部と断面的アクセス

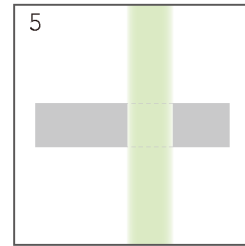
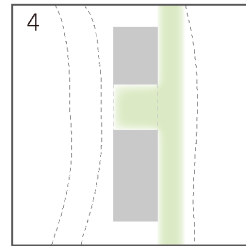
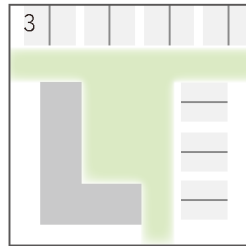
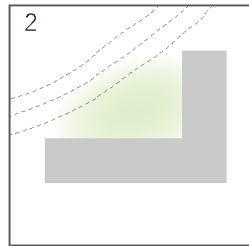
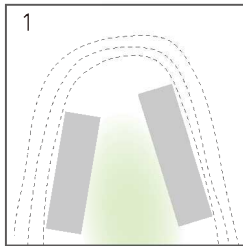
- ←→ アクセス
- ←→ 開放方向
- ←→ 半屋外
- ニワ+サークル

ボリューム形体



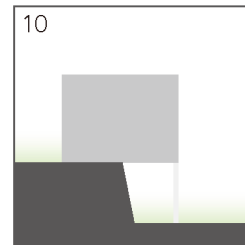
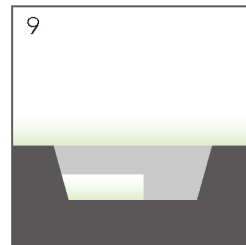
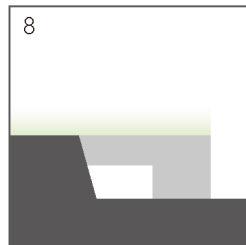
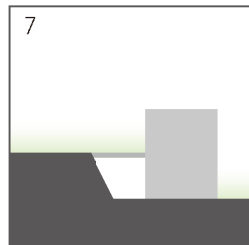
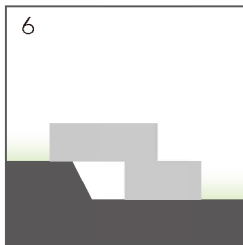
+

平面形体

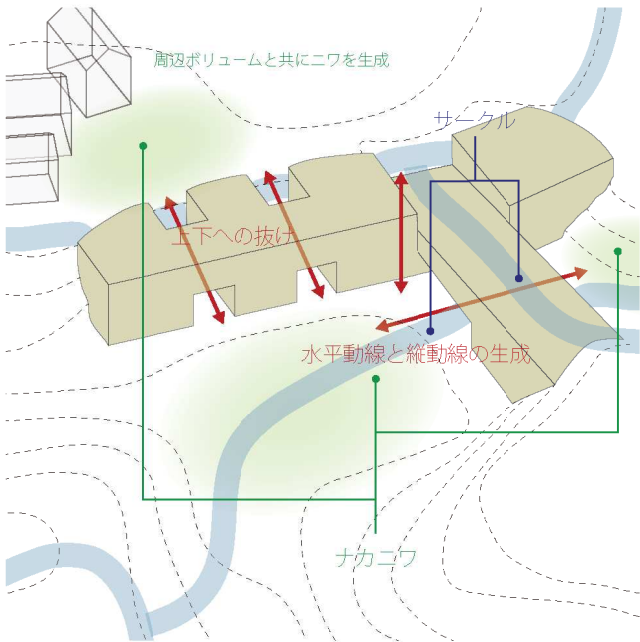
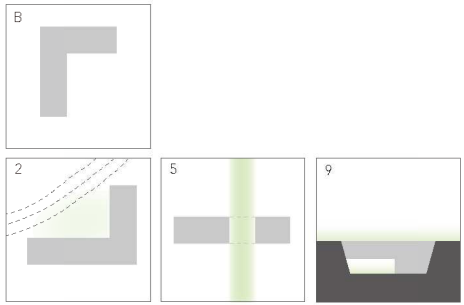


+

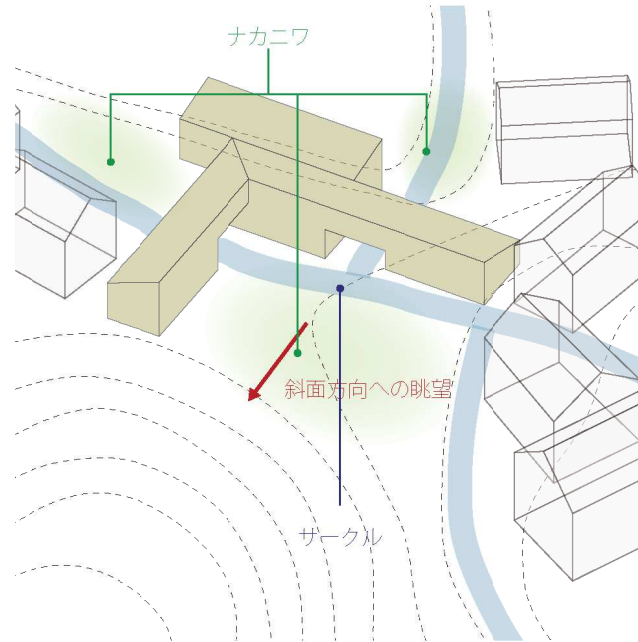
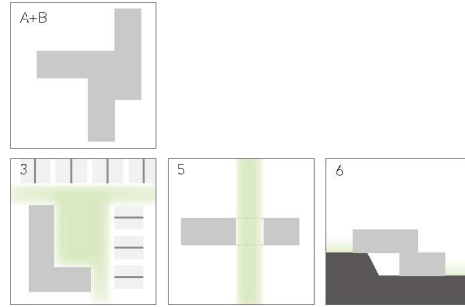
断面形体



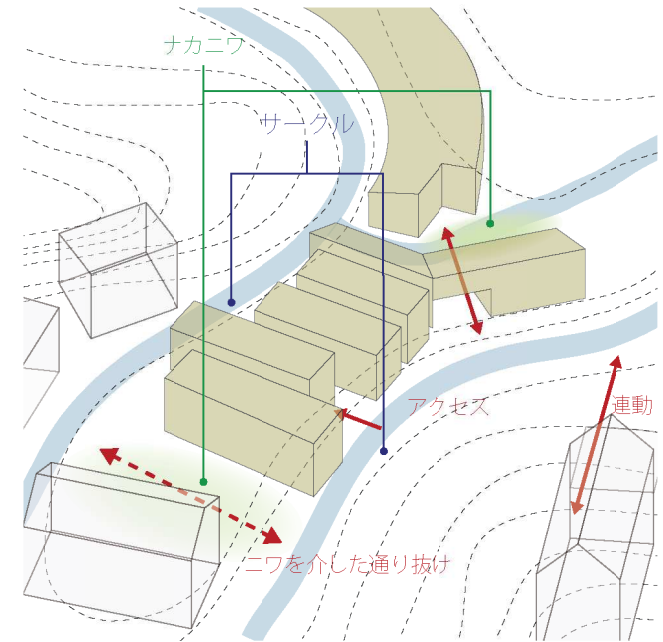
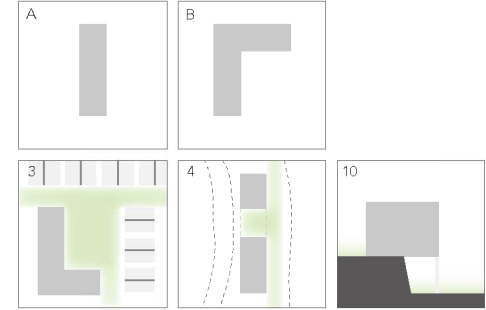
B - 2+5+9



A+B - 3+5+6



A+B - 3+4+10

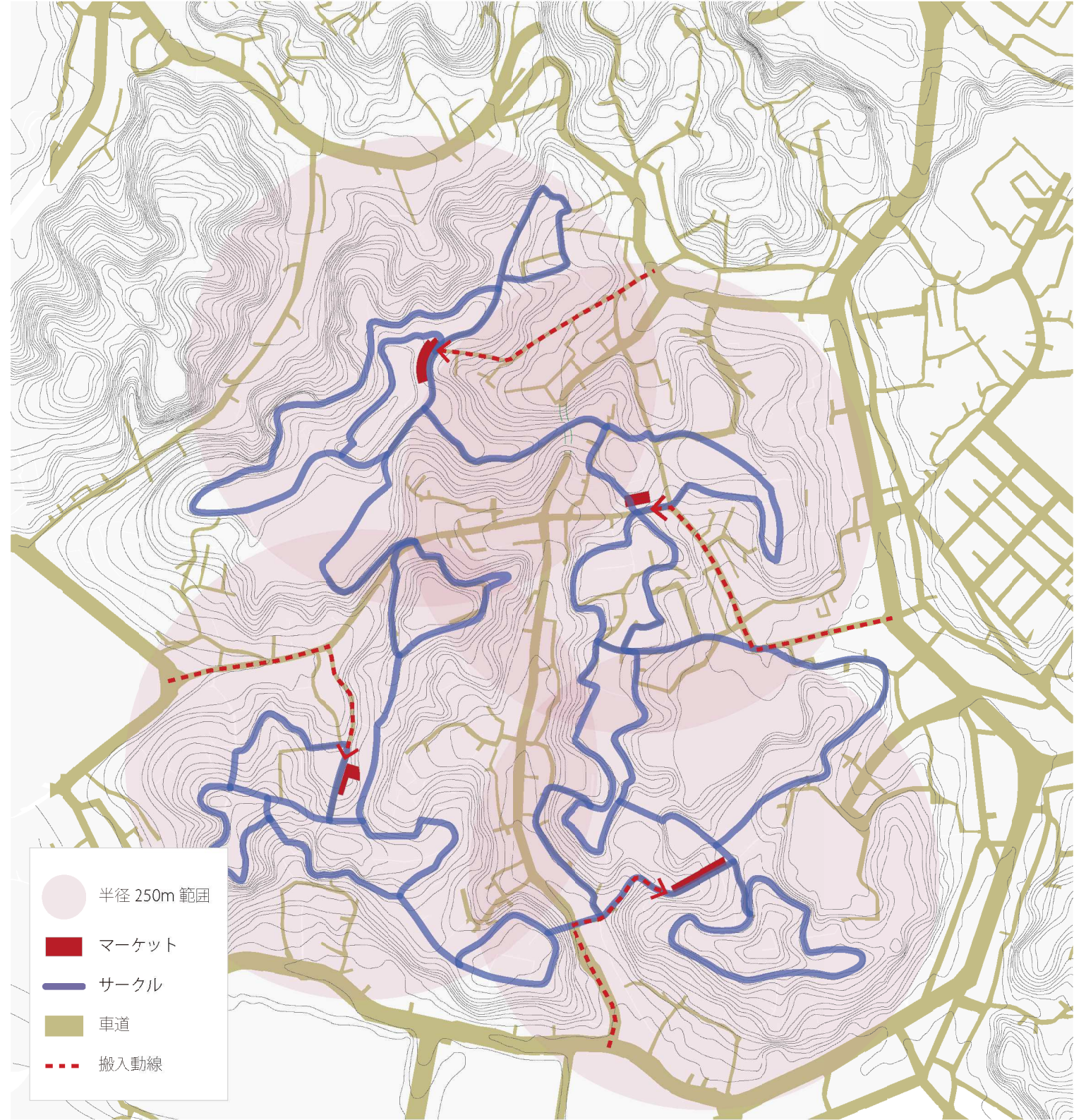


<サークル>と<ニワ>が中心となった街が形成される

<マーケット>のレイヤー

車道に接する販売の拠点

搬入のため、車道に接する位置に設けられ、
サークルを用いた宅配サービスや移動販売等の拠点ともなる



<公共施設>のレイヤー

設備的専門性による公共施設の分類

専門性有り

図書館

病院

学校

運動施設

専門性無し

コミュニティセンター

婦人会館

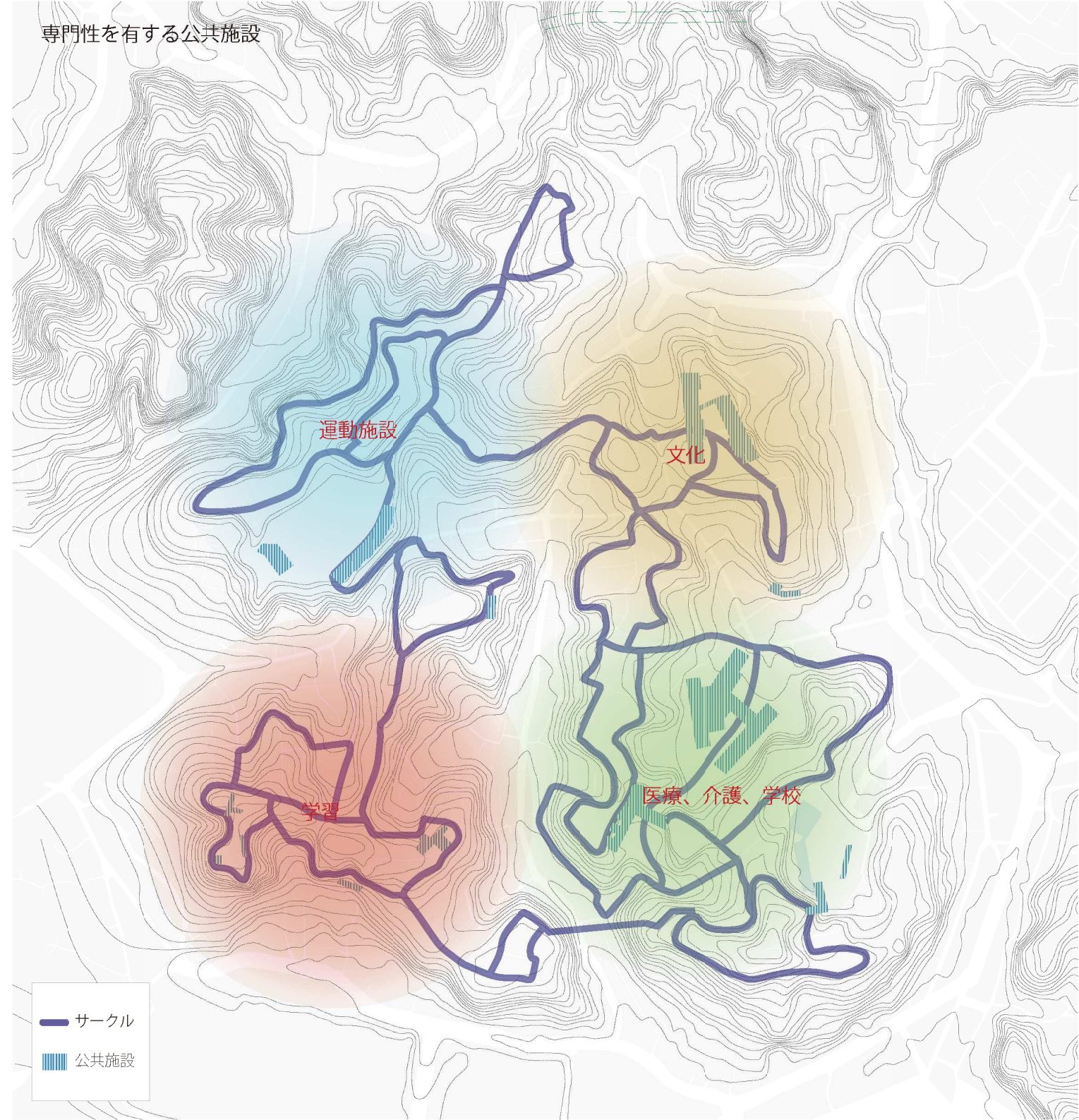
青少年会館

老人憩いの家

専門性を有する公共施設

専門性の有する物

<サークル>と接し、
4つのエリアに各エリアに特色を与える



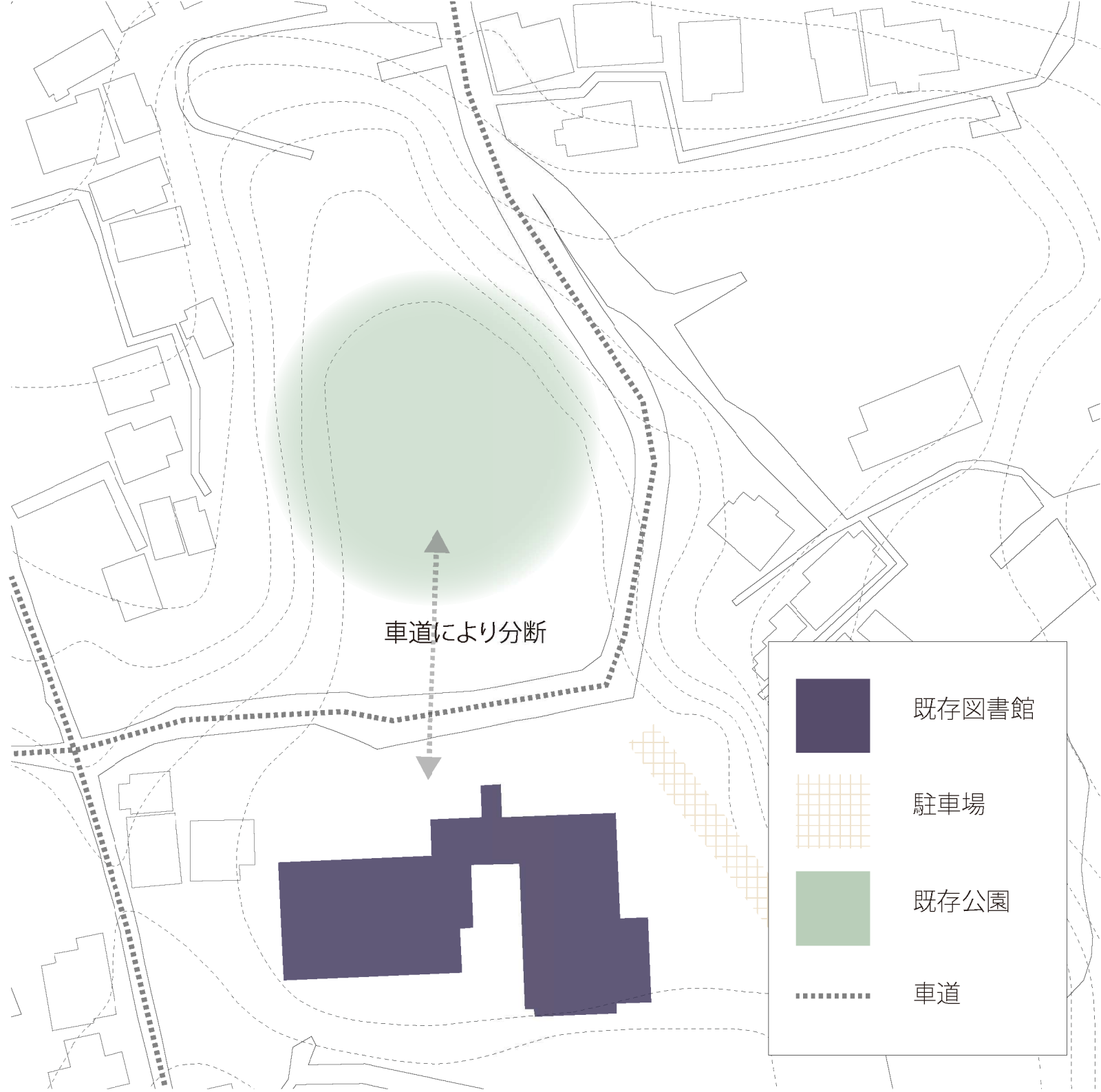
— サークル





公共施設

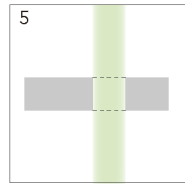
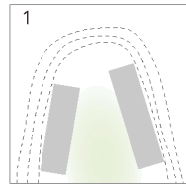
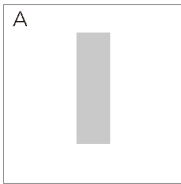


建ち方のパターンによる 段階的な建て替え

Phase 1



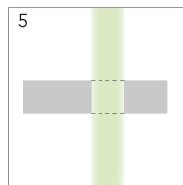
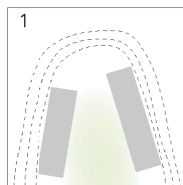
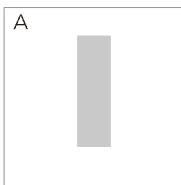
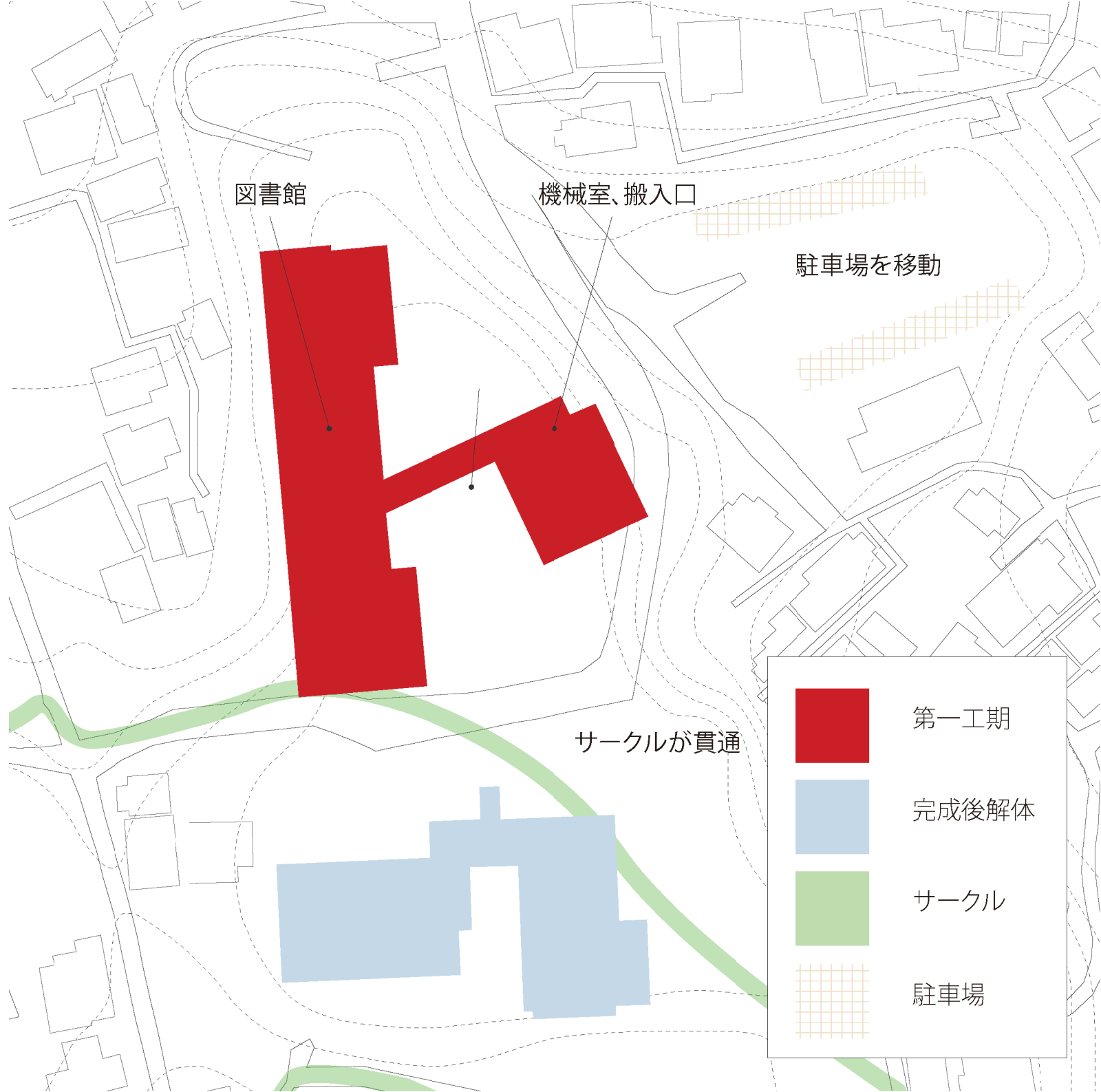
	既存図書館
	駐車場
	既存公園
	車道





建ち方のパターンによる 段階的な建て替え

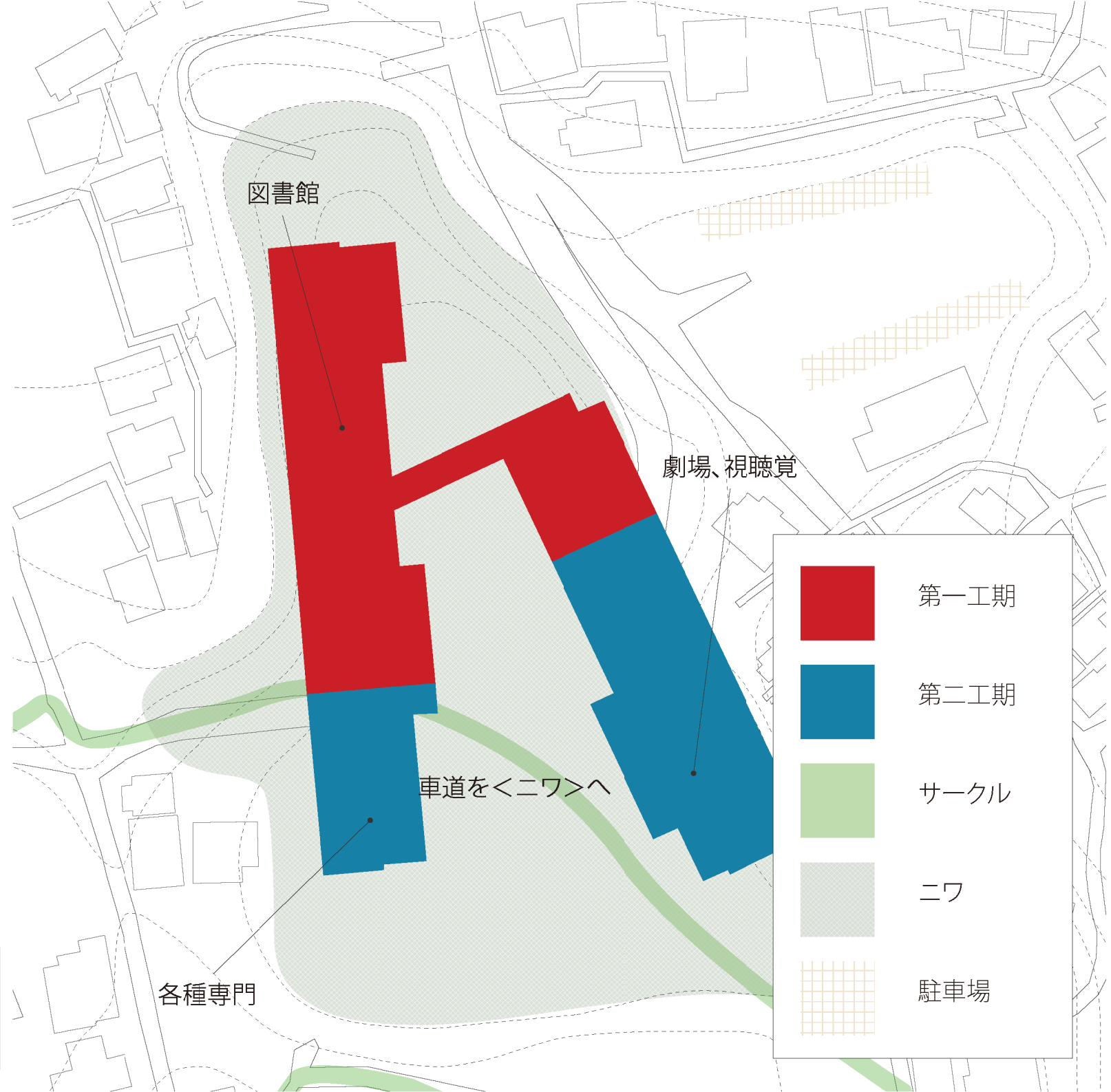
Phase 2



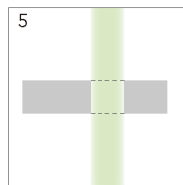
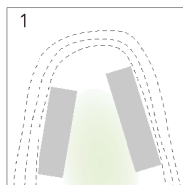
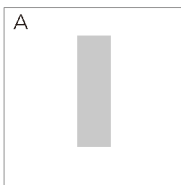


建ち方のパターンによる 段階的な建て替え

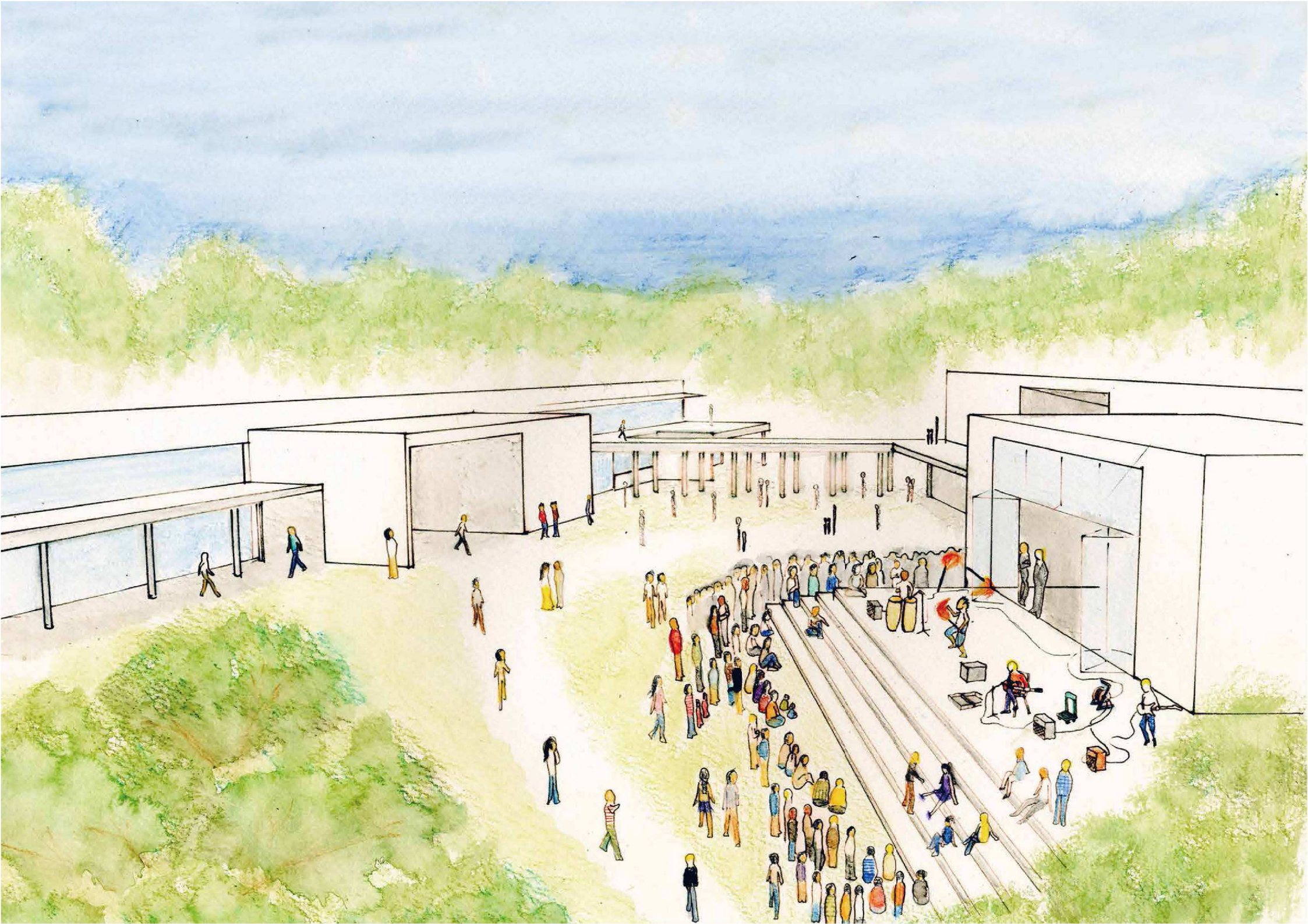
Phase 3



	第一工期
	第二工期
	サークル
	ニワ
	駐車場



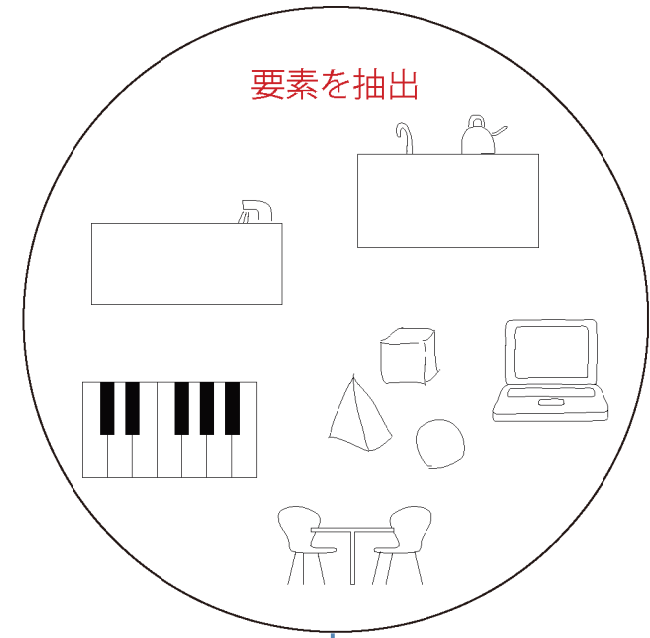
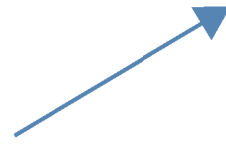
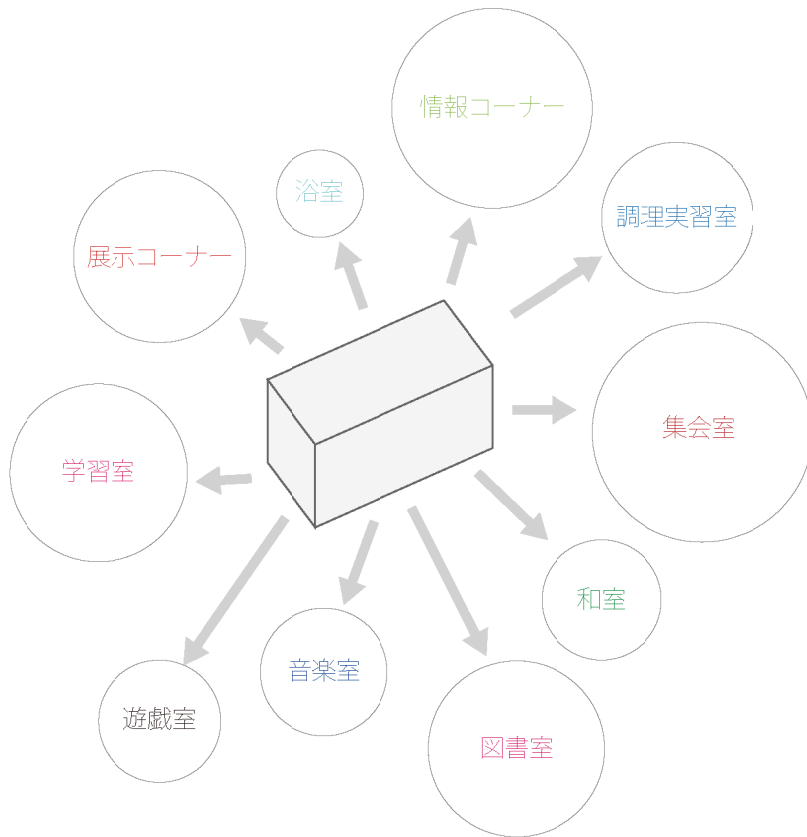
各種専門



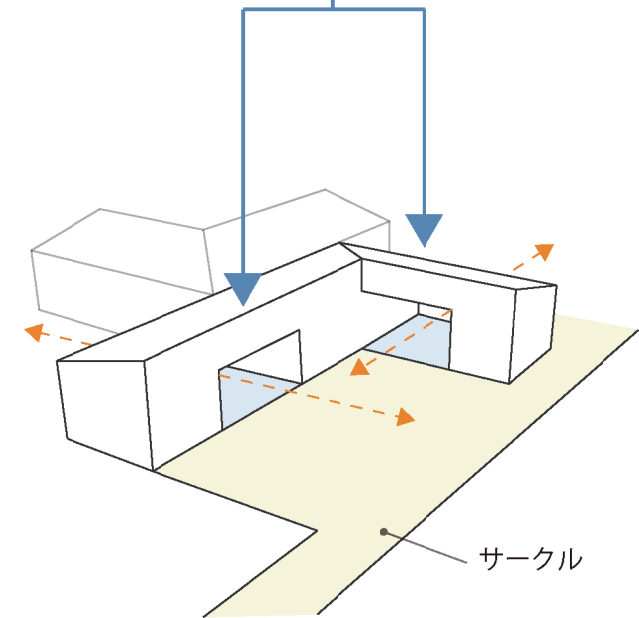
専門性の無い物

構成要素の解体、抽出を行い、集合住宅に入れ込むことで、より日常的な利用がなされるようになる

構成要素の解体



集合住宅に入れ込む

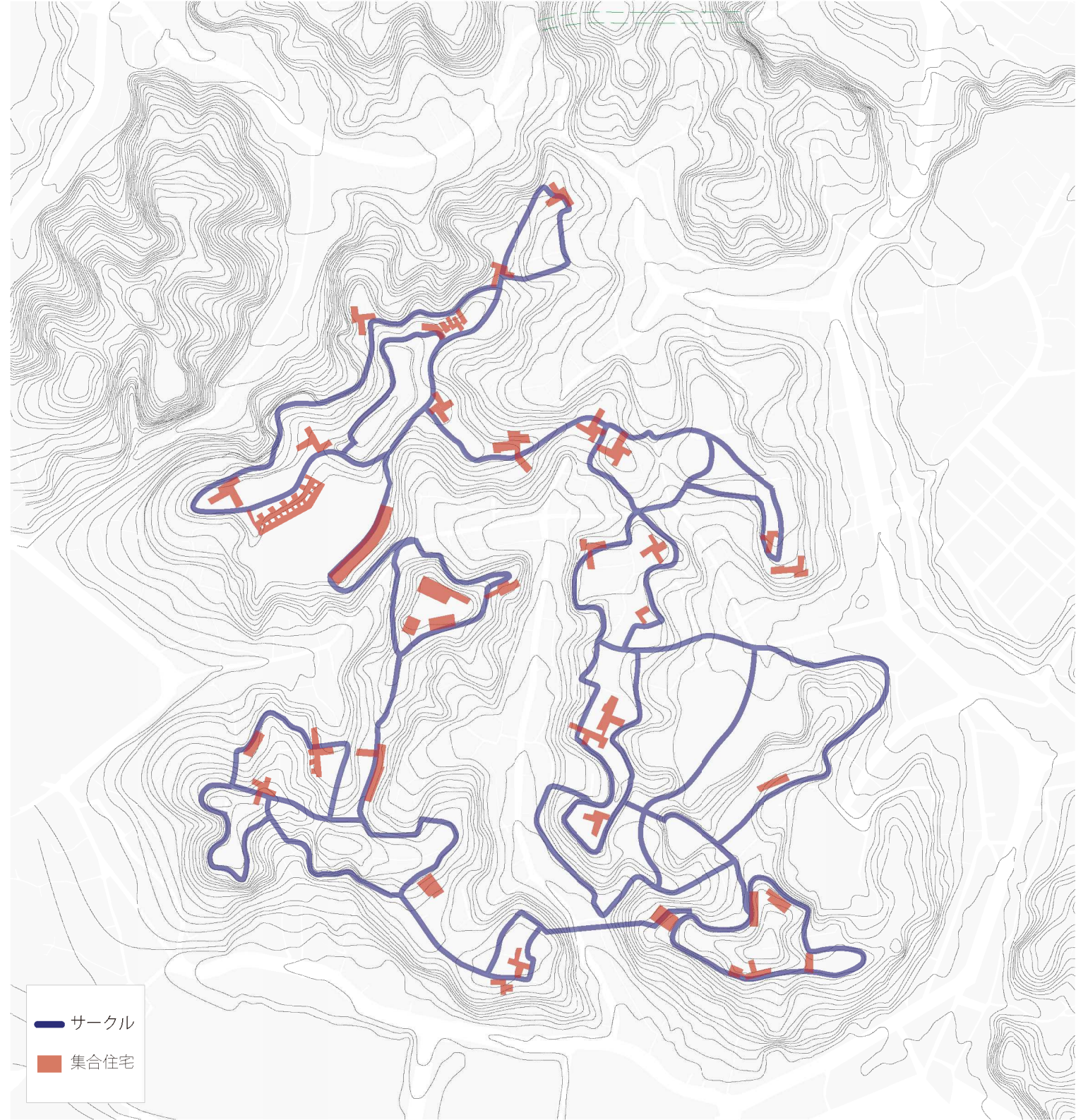
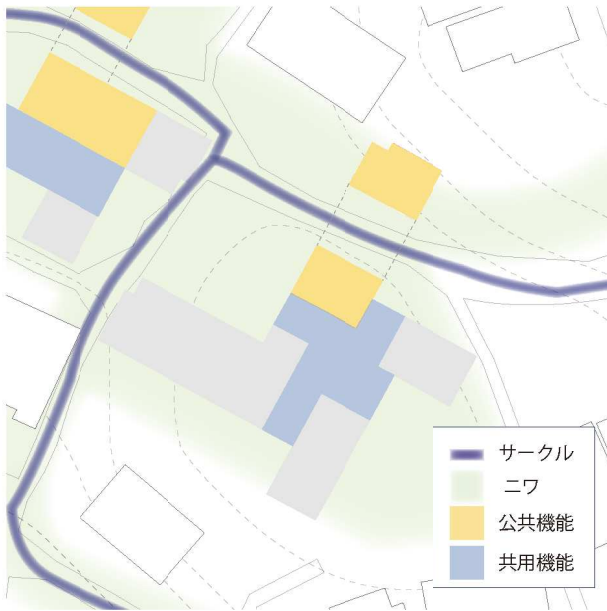


<住居>のレイヤー

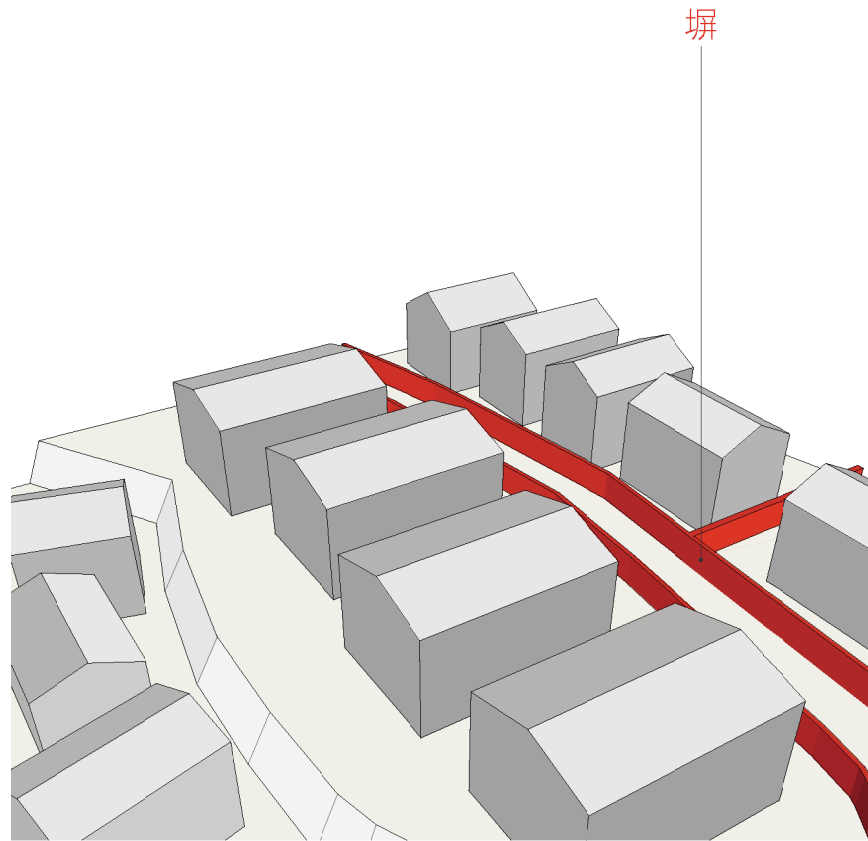
〈ナカニワ〉と接する

〈公共部〉〈共用部〉

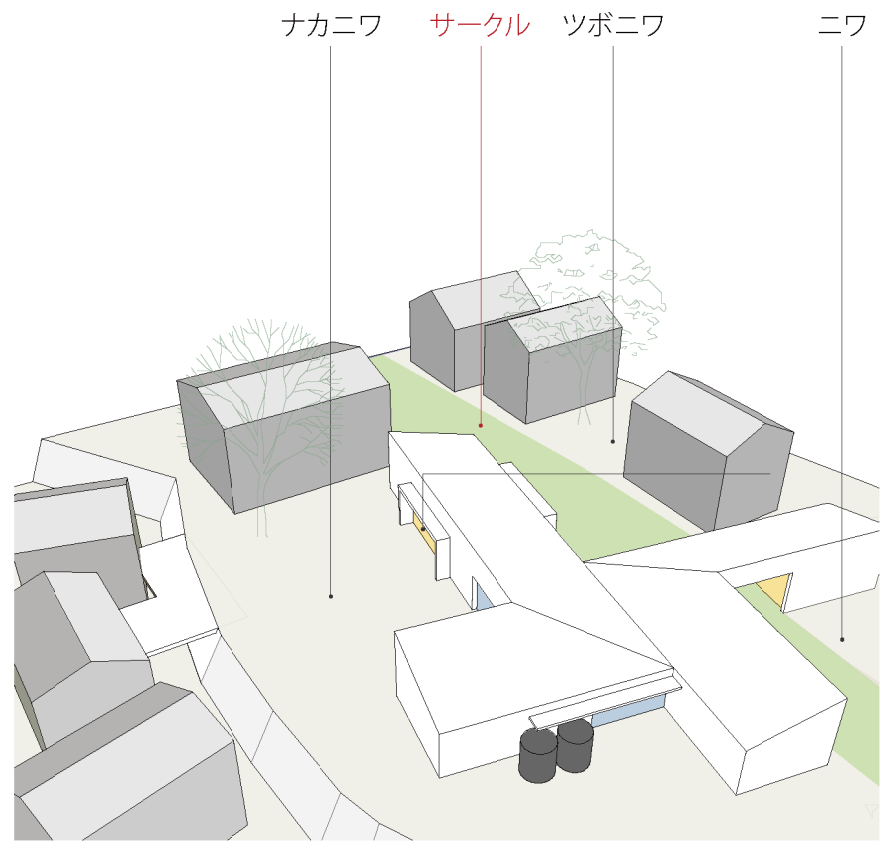
パターンに則り計画する事で〈ナカニワ〉が形成され、
それに接するように〈公共部〉〈共用部〉を配する



道路に面する〈塀〉

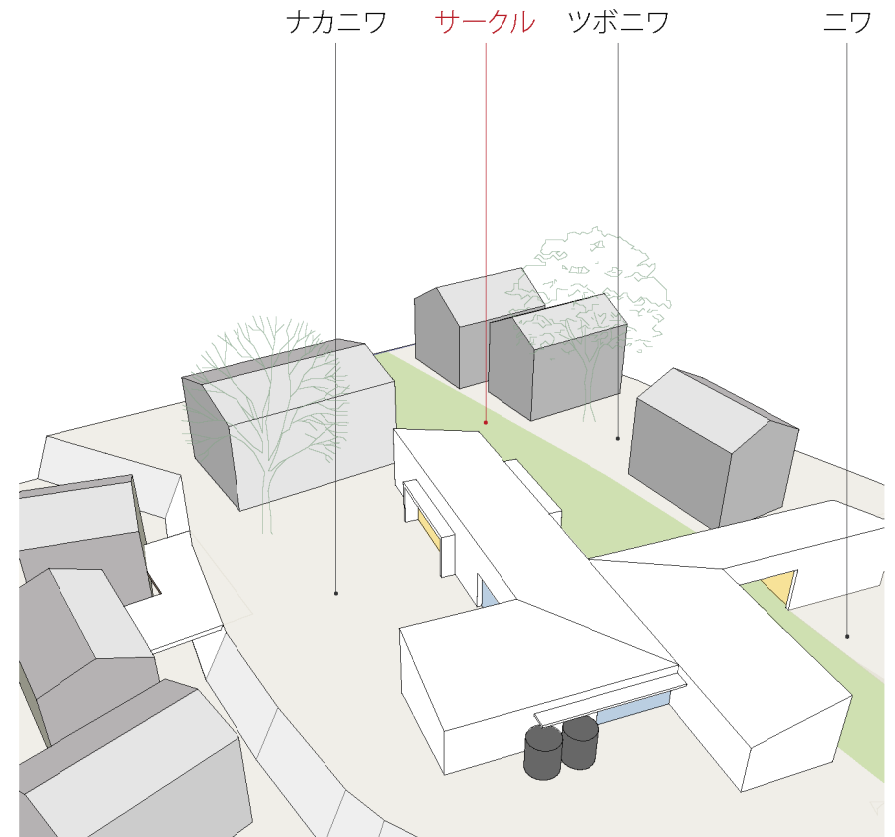
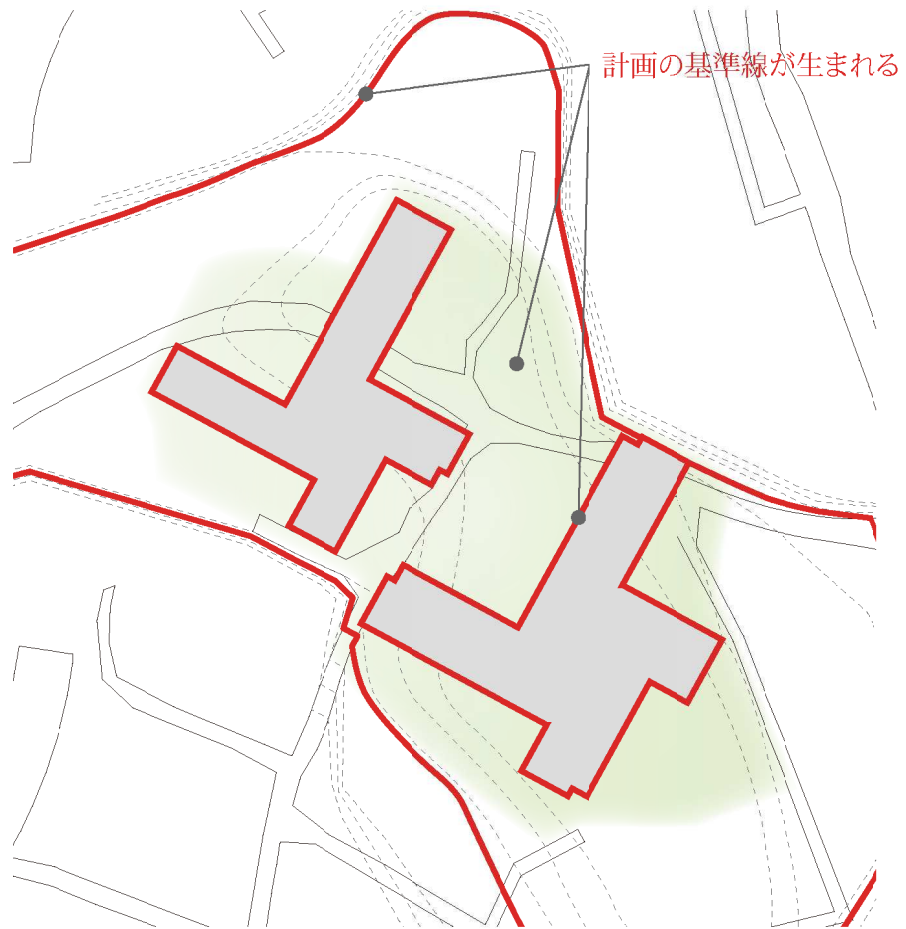


塀が建ち、平地と変わらない住宅が建つ



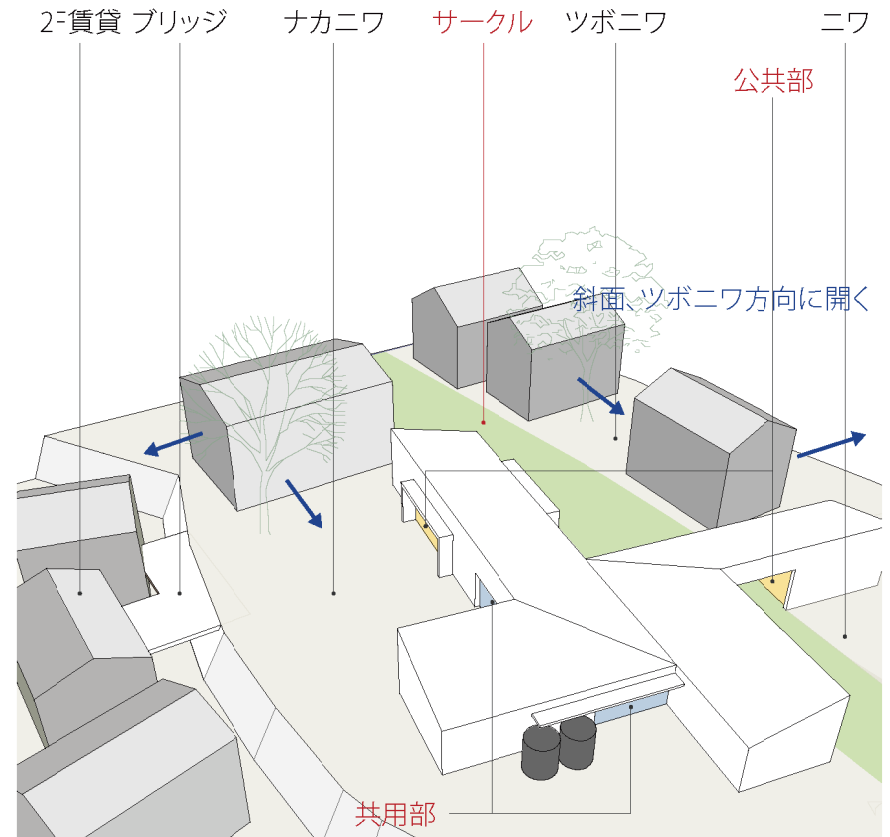
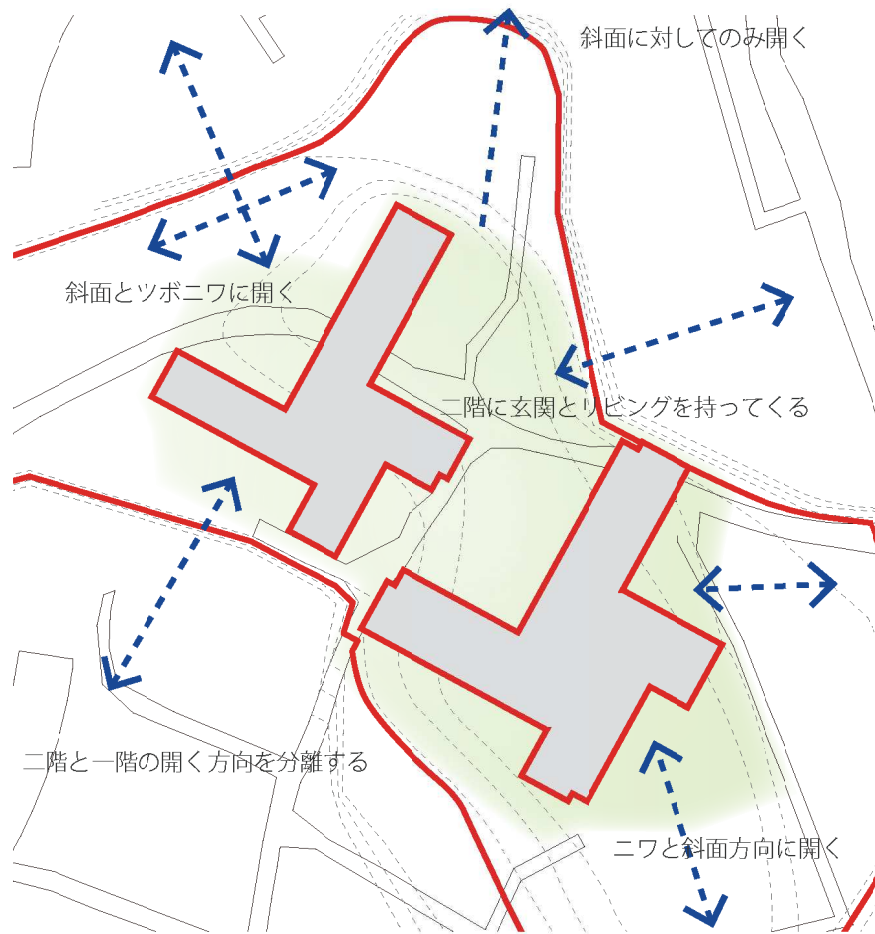
集合住宅によりニワが生まれる

〈基準線〉の発生



〈地形〉、〈ニワ〉、〈集合住宅〉による〈基準線〉により、開くべき方向が決定される

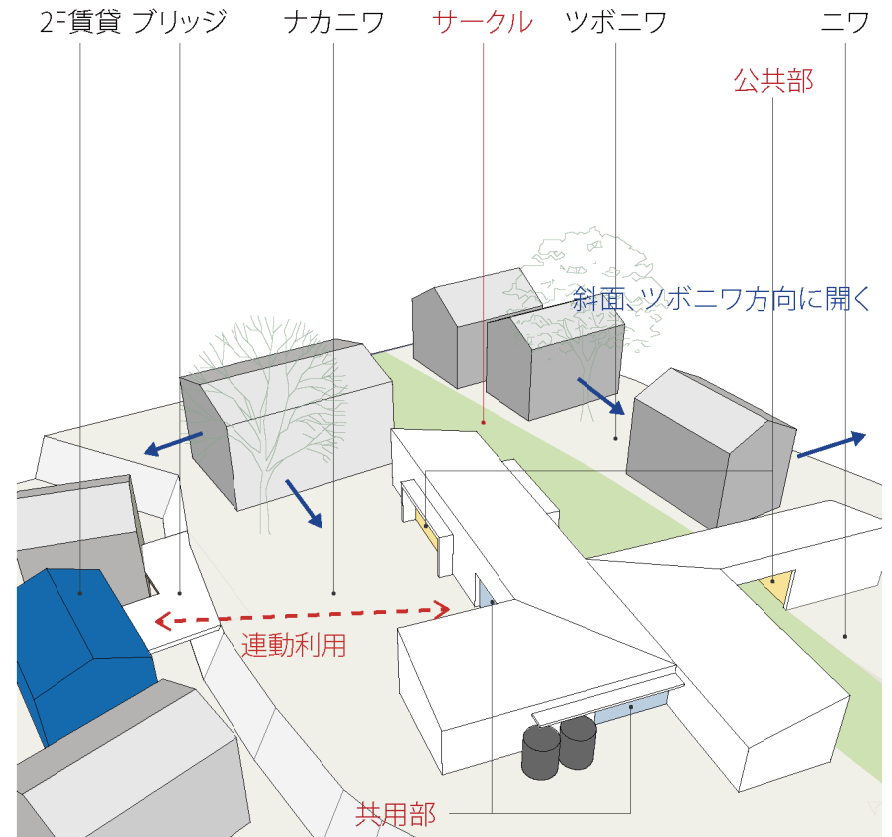
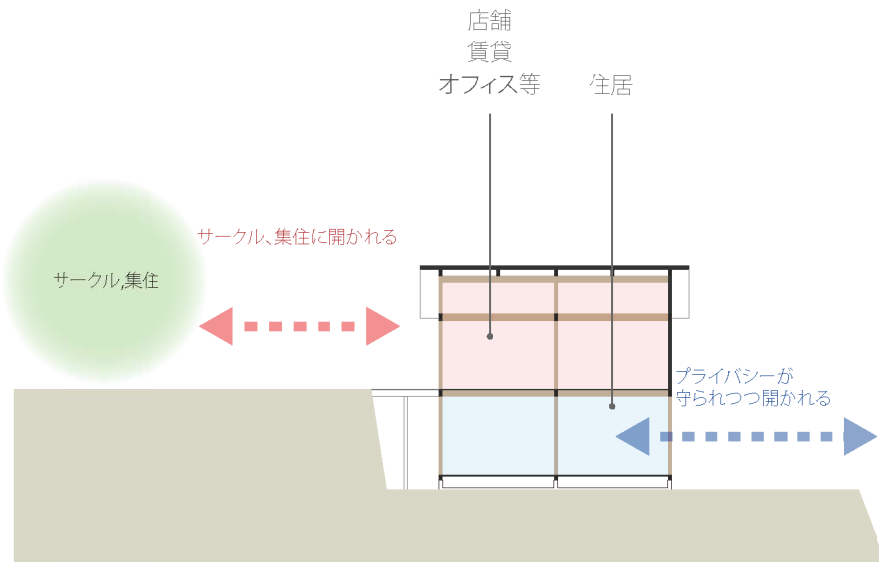
〈基準線〉の発生



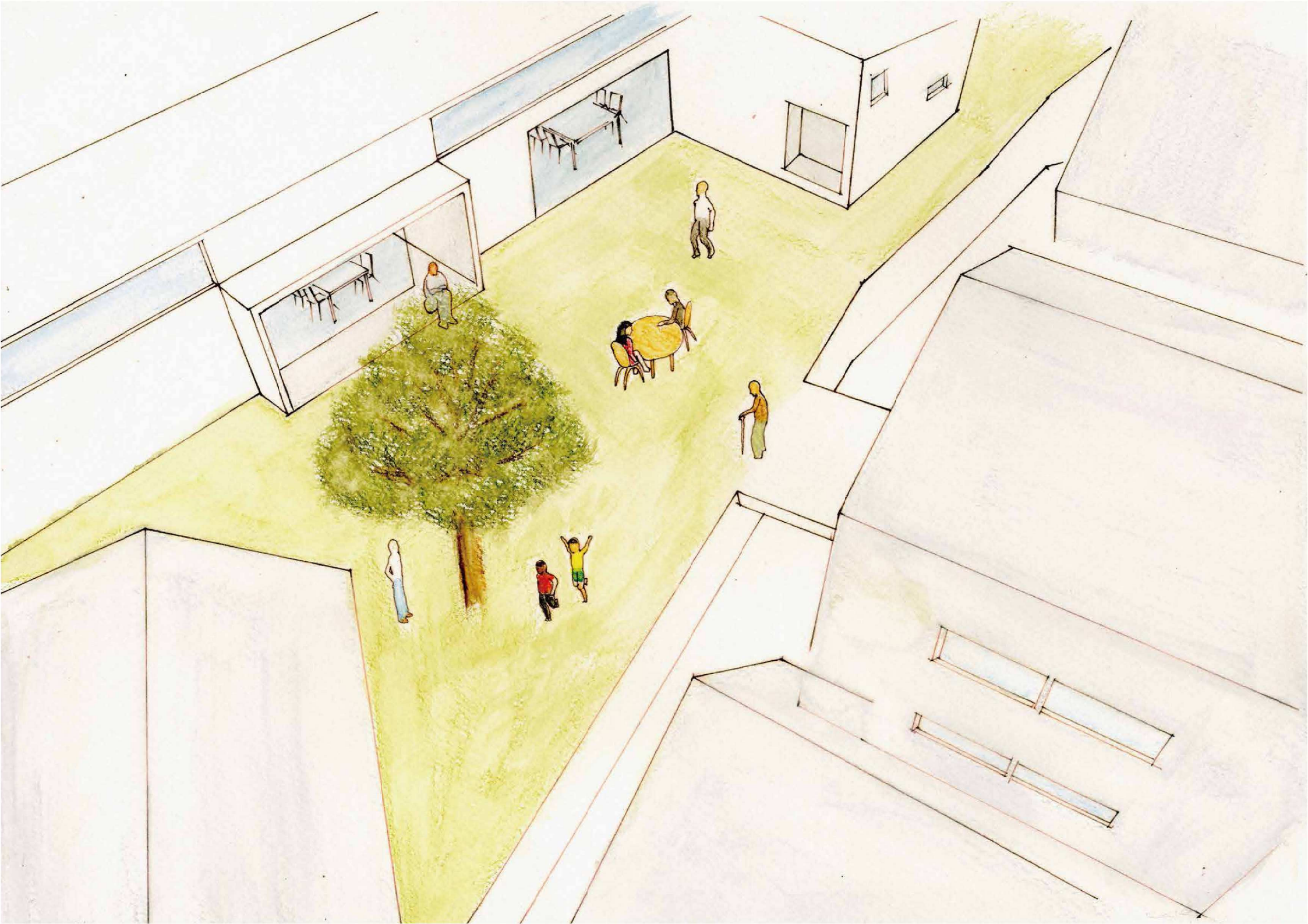
〈地形〉、〈ニワ〉、〈集合住宅〉による〈基準線〉により、開くべき方向が決定される

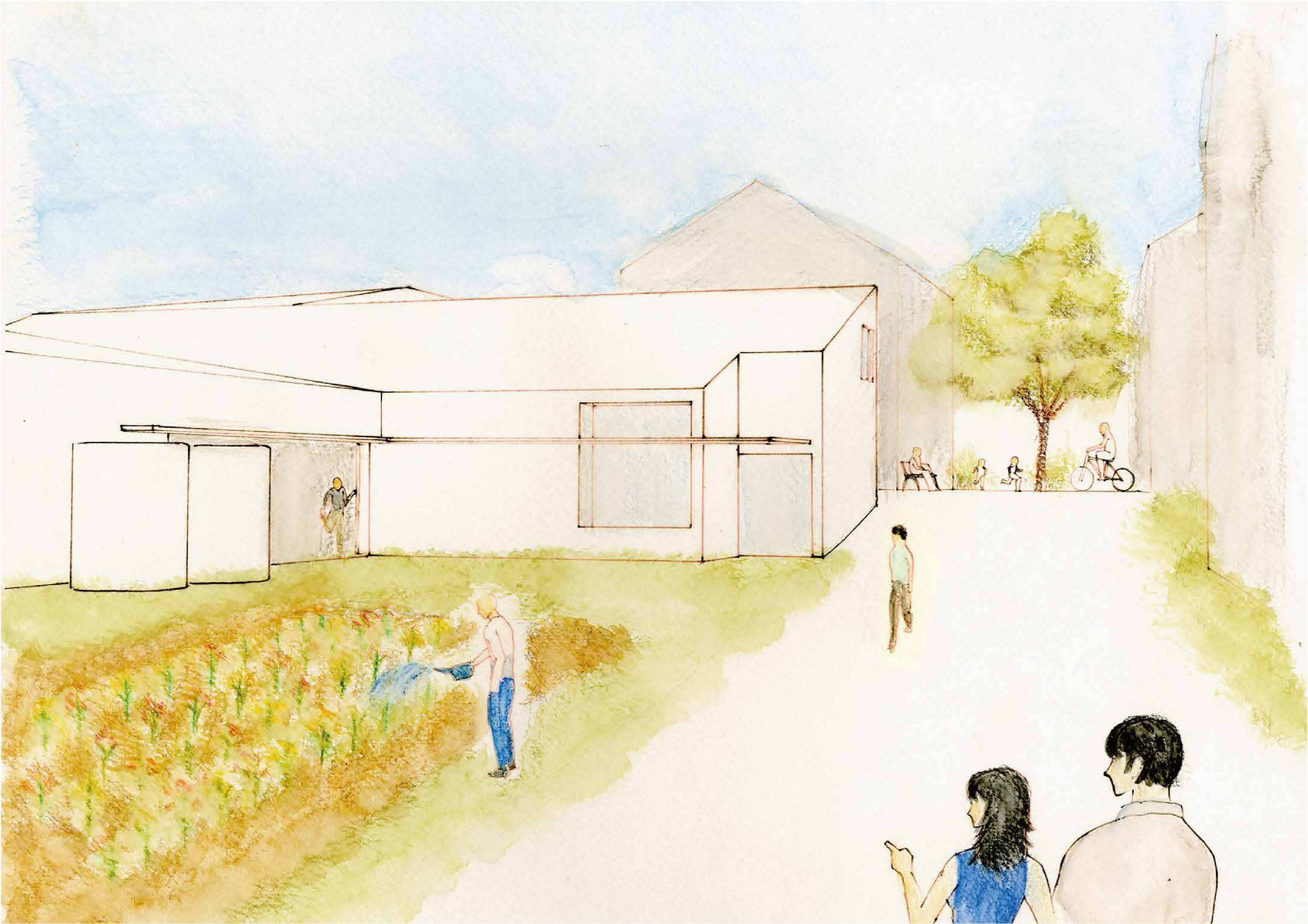
2階レベルにおけるのサークルとの連続

各階が互いに独立



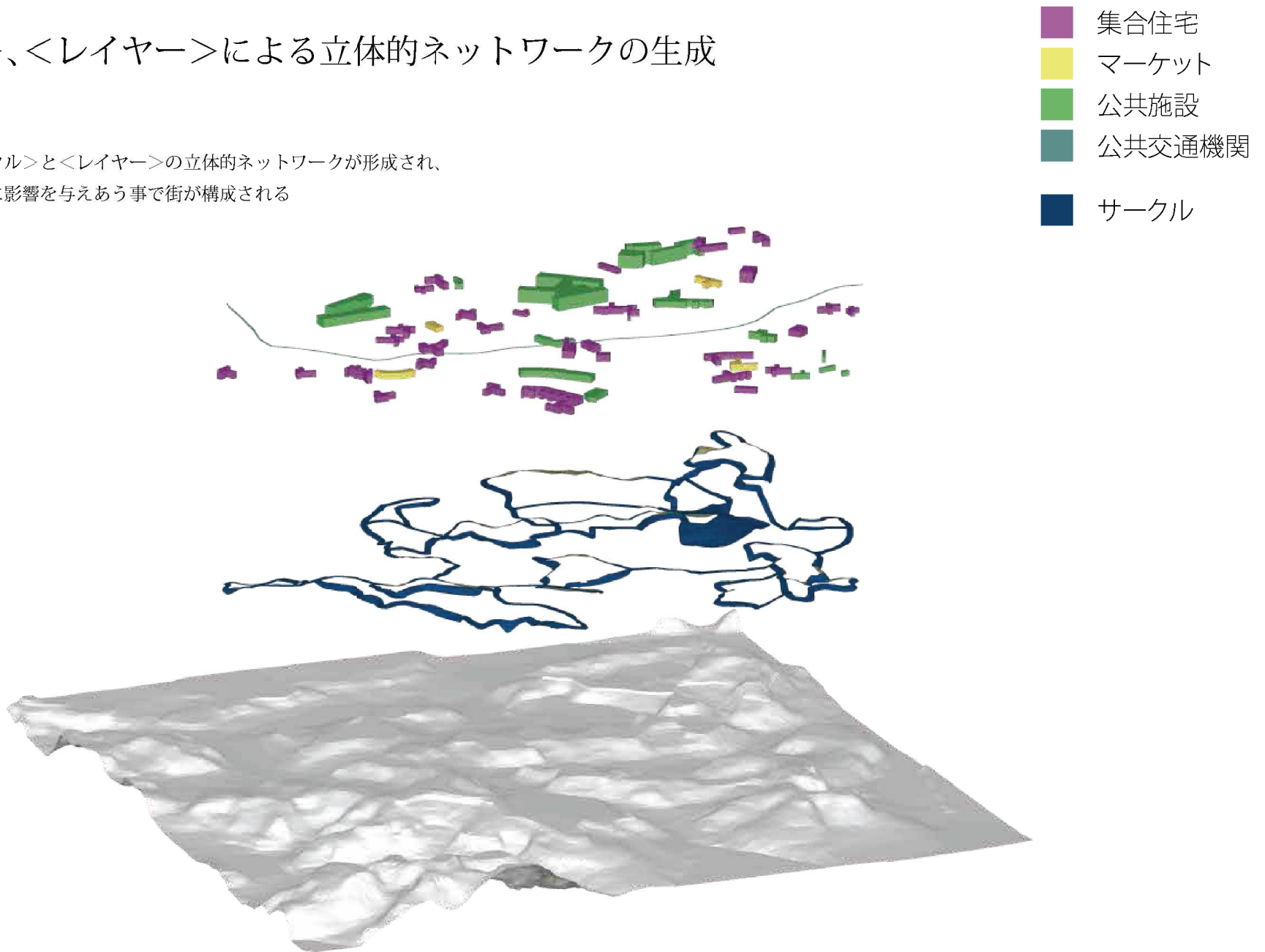
地形を利用し二階レベルにおいてニワやサークルと接続する事で各階において独立し、サークルやニワが中心の街が形成される





<サークル>、<レイヤー>による立体的ネットワークの生成

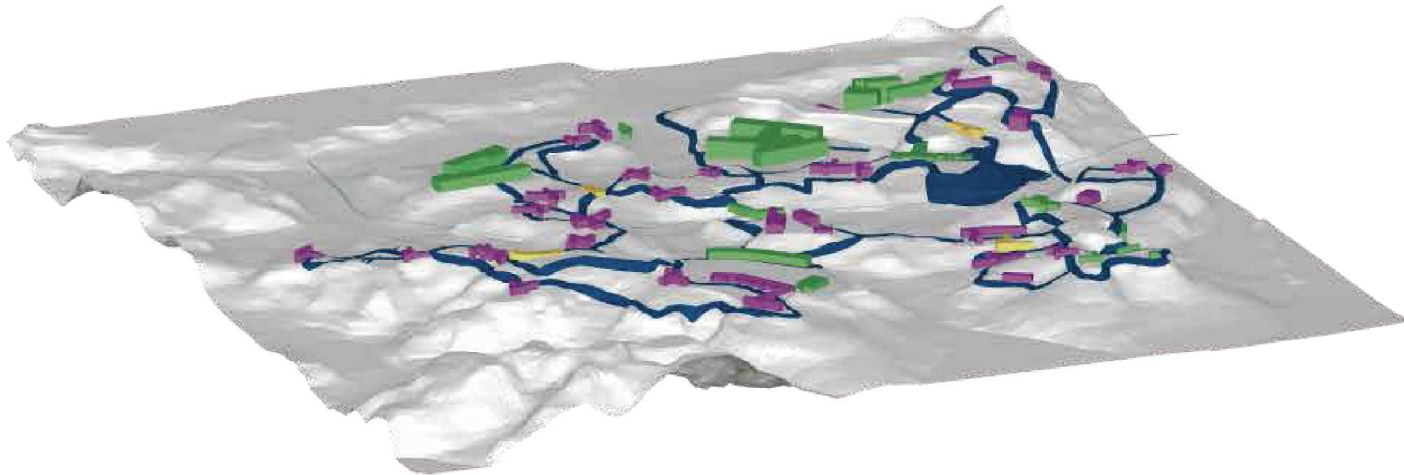
<地形>により<サークル>と<レイヤー>の立体的ネットワークが形成され、
それぞれの要素が互いに影響を与えあう事で街が構成される



＜サークル＞、＜レイヤー＞による立体的ネットワークの生成

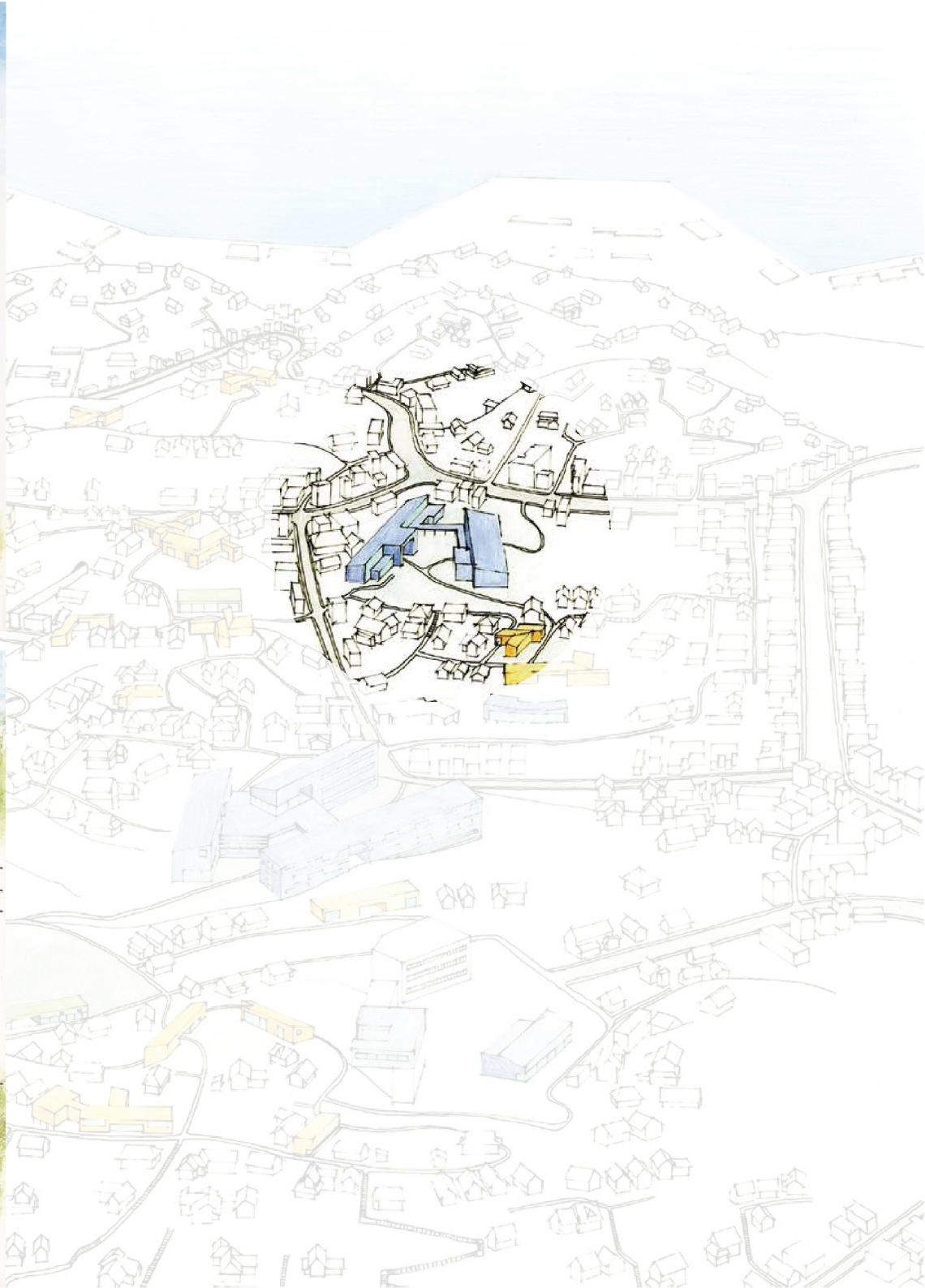
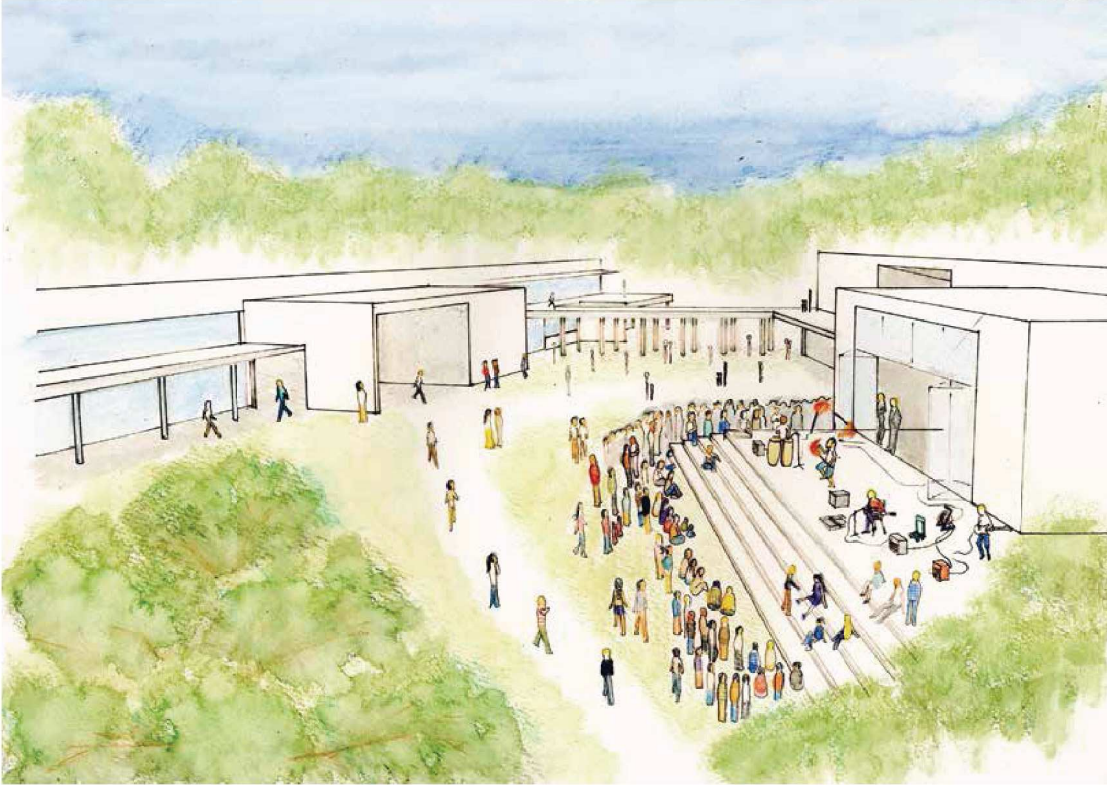
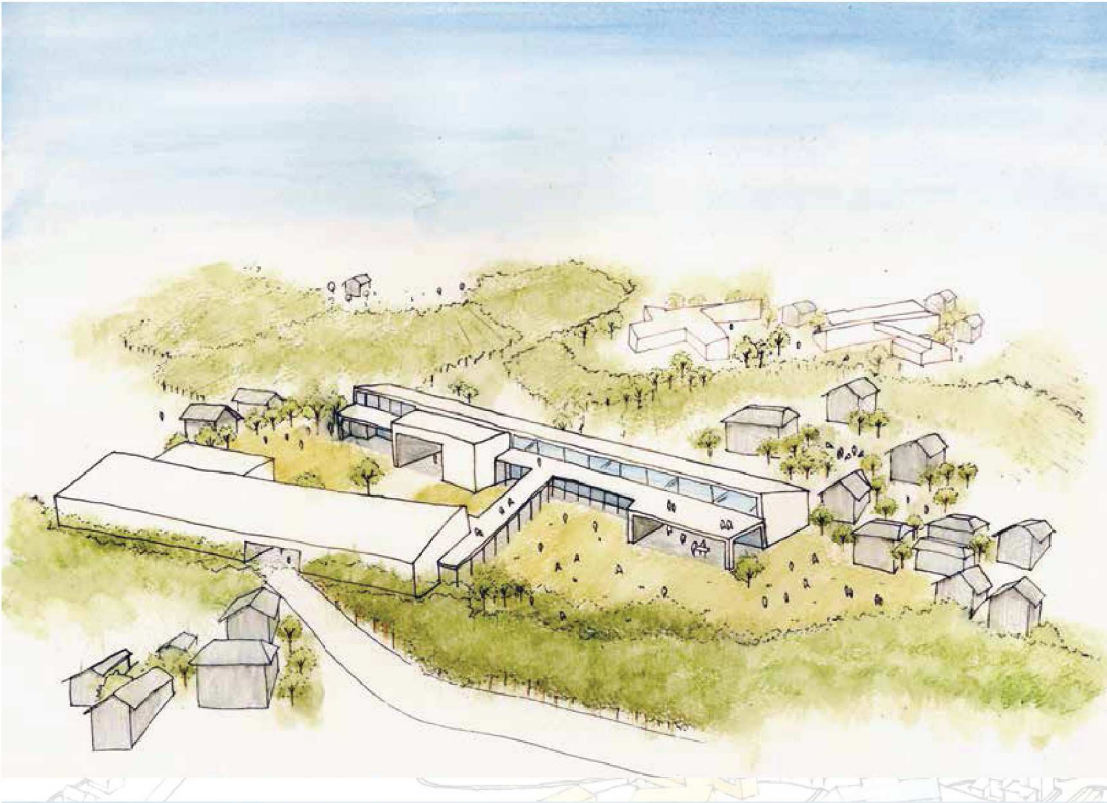
＜地形＞により＜サークル＞と＜レイヤー＞の立体的ネットワークが形成され、
それぞれの要素が互いに影響を与えあう事で街が構成される

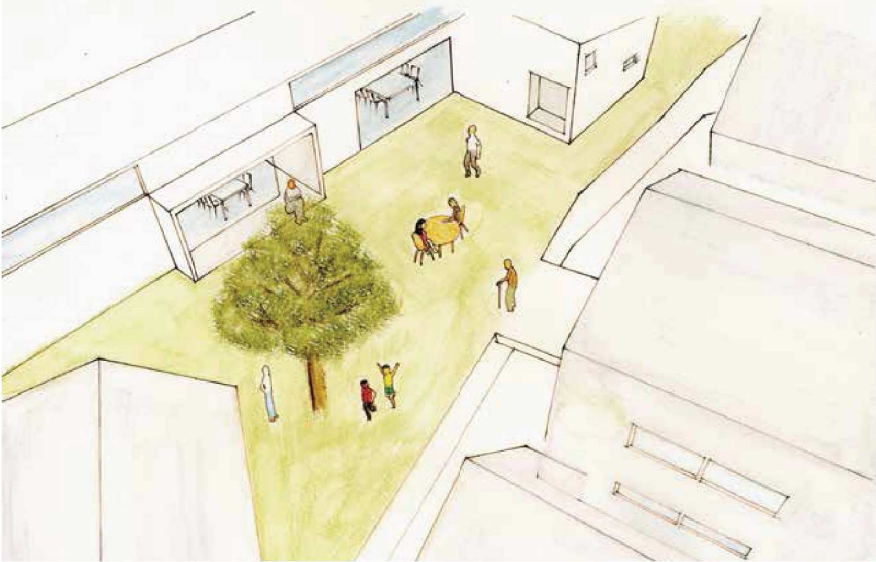
- 集合住宅
- マーケット
- 公共施設
- 公共交通機関
- サークル

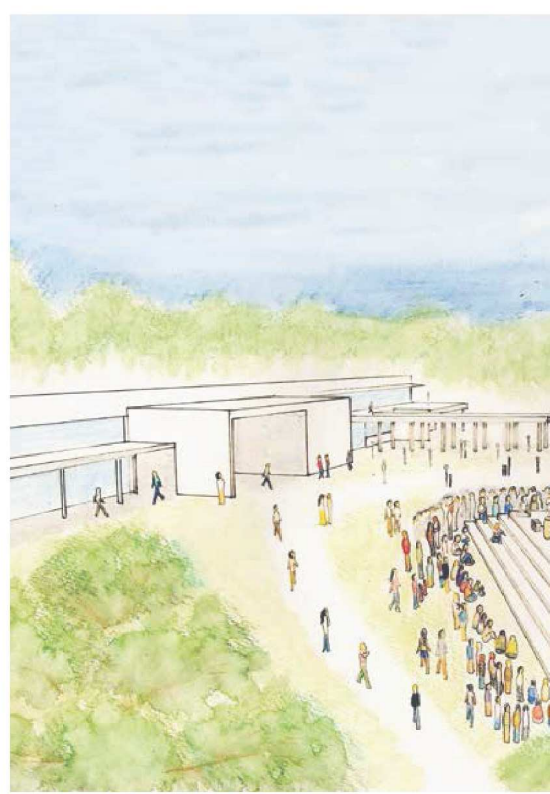
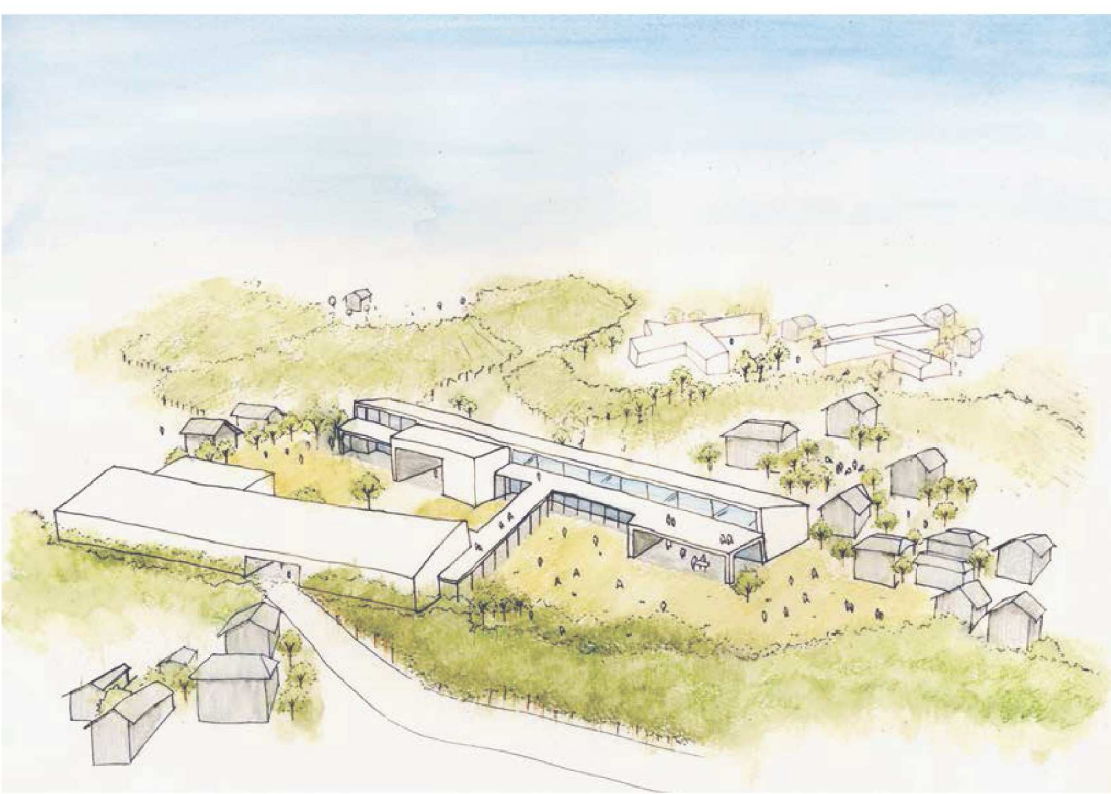
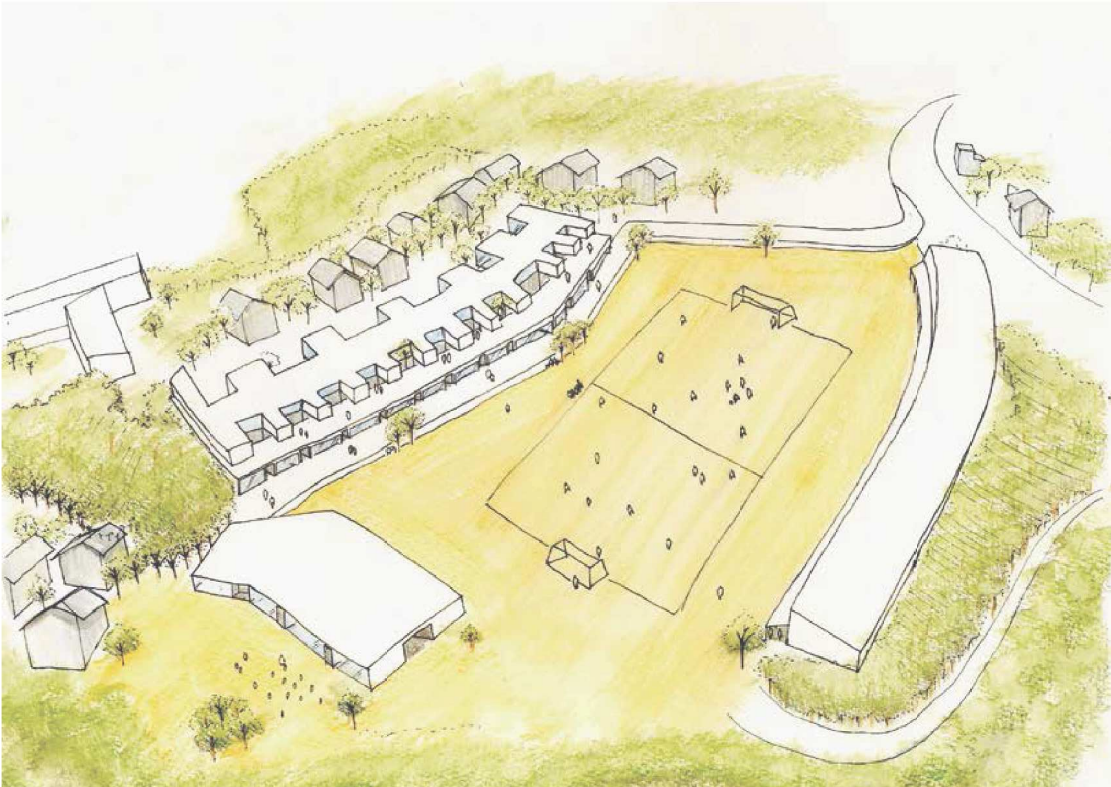












横須賀の「谷戸」という集合した住まいに暮らす事で
横須賀にしかない生活を送る事が出来るのではないだろうか

